

TRURIO

システムキッチン トウルリオシリーズ

取扱説明書

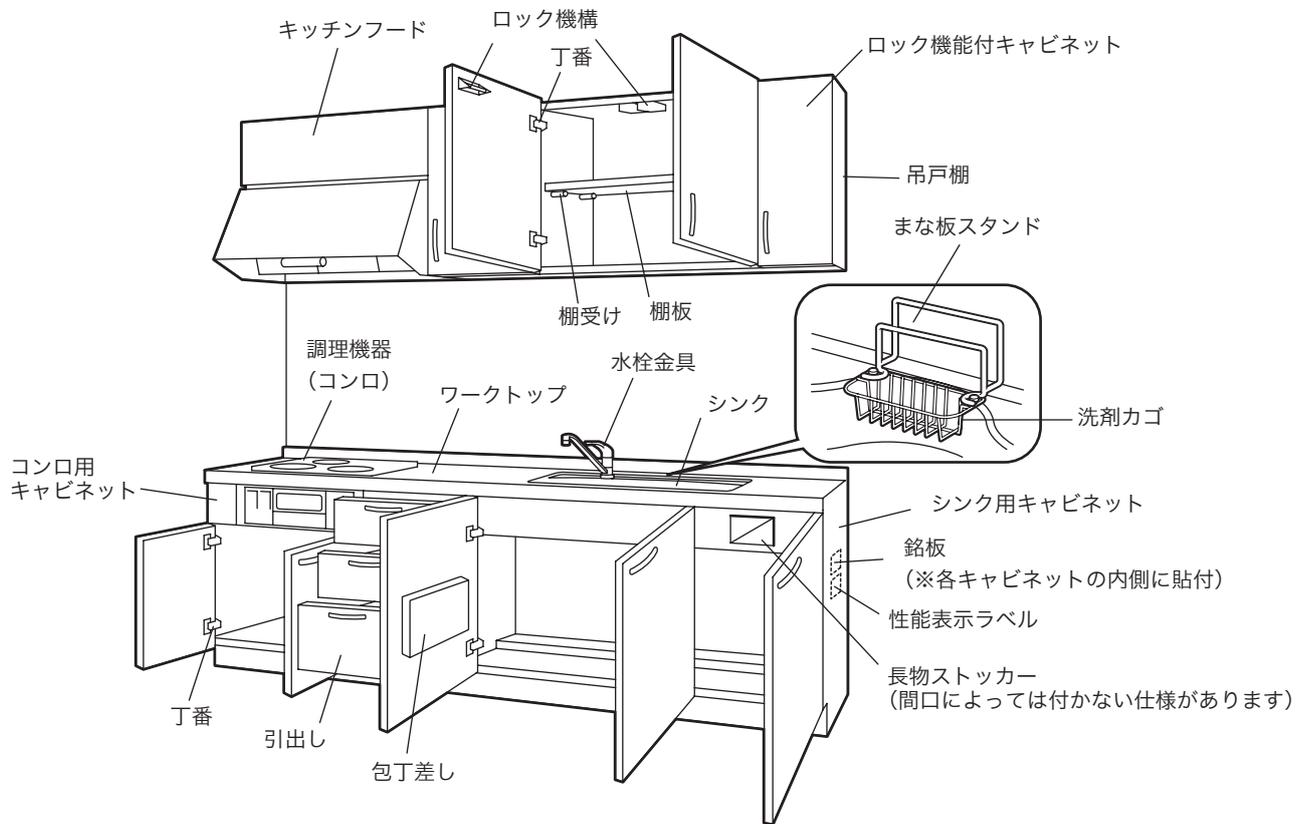
- このたびは、システムキッチンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのシステムキッチンを正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、調理機器、オプション機器の取扱説明書とともに、いつでも使える場所へ大切に保存してください。
- この取扱説明書の巻末は、保証書になっています。保証書は必ず「お買上げ日販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

もくじ

●各部の名称	1
●安全上のご注意	4
●ご使用上のお願い	6
●ご使用方法	
扉の調整方法	9
引出し前板の調整方法	11
引出し（B・Cタイプ）の取外し、取付けをするには	12
引出し（B・Cタイプ）前板の調整方法	12
引出し（Dタイプ）の取外し、取付けをするには	13
引出し（E・Fタイプ）の取外し、取付けをするには	13
引出し（D・E・Fタイプ）前板の調整方法	14
引出し（耐震ロック付タイプ）前板の調整方法	15
引出し（耐震ロック付タイプ）ロック機構解除方法	16
ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダーについて（サポート収納タイプのみ）	17
ダブルクロスギャラリーの取外し、取付けをするには（サポート収納タイプのみ）	17
ダブルデバイダーの取外し、取付けをするには（サポート収納タイプのみ）	18
ダブルボックスサイドの取外し、取付けをするには（サポート収納タイプのみ）	18
コンロ脇小引出し前板の調整方法	19
プルモーション扉（ダンパー）の調整方法	19
プルモーション機能について	20
内引出しについて（サポート収納タイプのみ）	20
プッシュオープン引出しについて	21
棚板の高さを変えるには	22
ロック機構付きキャビネットについて	23
スイングダウンウォール付吊戸棚について	24
ブルダウンラック付吊戸棚について	27
スイングアップステー付吊戸棚 扉の調整方法	30
アルミ引出し吊戸棚・デッキカウンタースライド収納 アルミ引出しの調整方法	31
アルミ引出し吊戸棚・デッキカウンタースライド収納 アルミ引出しの取外し、取付けをするには	32
多目的ストッカー 扉の調整方法	33
蒸気排出ユニット付家電品収納庫について	34
家電品収納庫について	36
壁付けコーナー用カウンターユニットについて	36
プラスワンカウンターについて	37
スキリスライドについて	38
回転トレーについて	38
洗剤カゴについて	39
包丁トレーについて（フットスペース収納タイプのみ）	39
スリムスライドキャビネットについて	39
包丁差しについて（サポート収納タイプのみ）	40
ステンレストレーについて（サポート収納タイプのみ）	40
●お手入れ方法	41
●点検方法	45
●仕様	45
●故障・異常の見分け方	46
●保証・点検・修理のご案内	46
●お問い合わせ窓口	47
●保証書	47

各部の名称(続き)

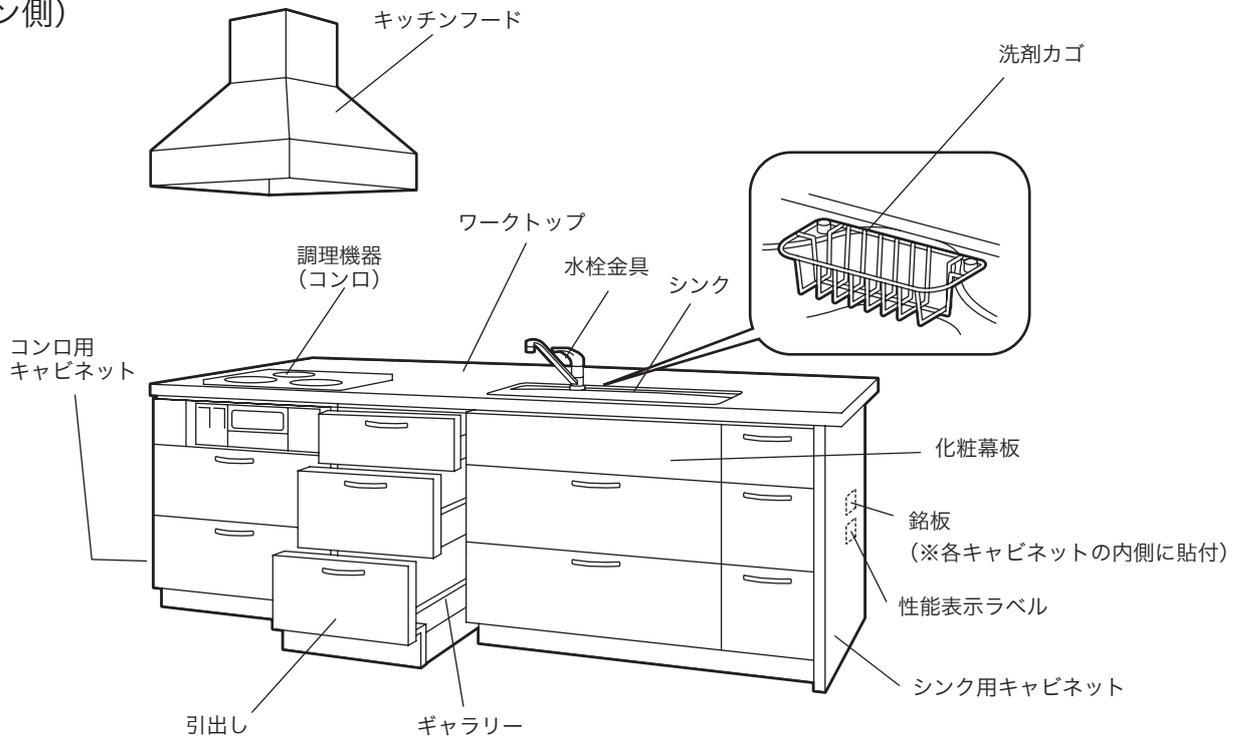
トゥルリオシリーズ (ノーマルタイプ)



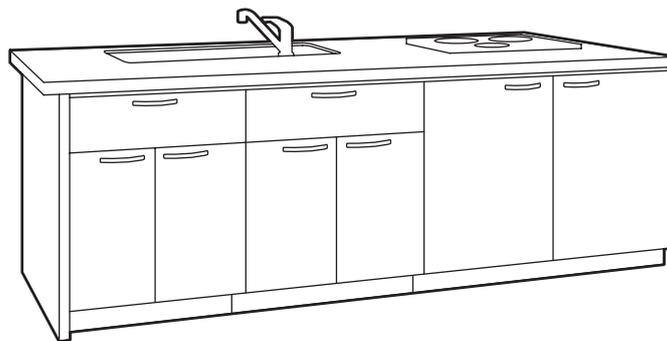
各部の名称(続き)

トゥルリオシリーズ (デッキカウンターフットスペースタイプ)

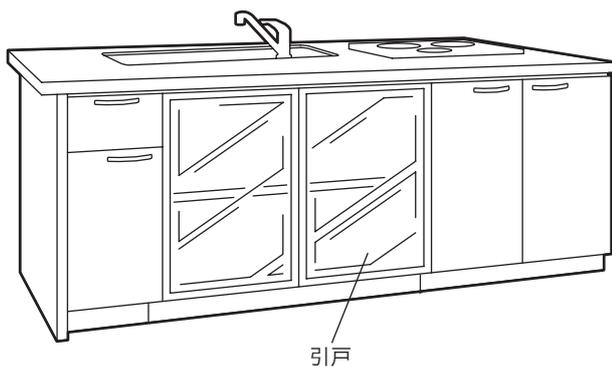
(キッチン側)



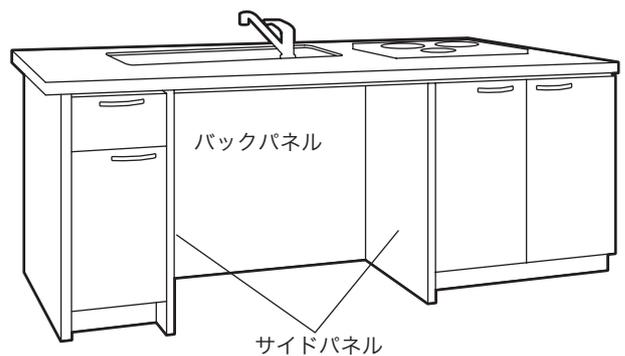
ノーマルタイプ (リビング側)



スライドタイプ (リビング側)



ダイニングタイプ (リビング側)



●安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注 意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。

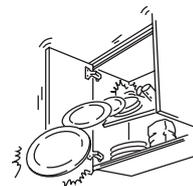


このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 注 意

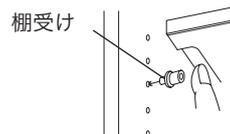
- 棚板の上には、20 kg以上載せない。
(種類にもよりますが、直径 20cm 程度の皿 (約 500 g) を 40 枚までを目安として下さい。
但し、皿の材質、形状により異なります。)

載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。



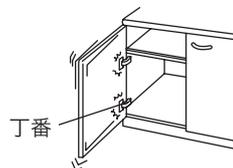
- 棚受けは確実に奥まで差し込む。

棚板が落下して、けがをするおそれがあります。
(棚板の高さの変え方：22 ページ参照)



- 扉がガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。
(扉の調整方法：9 ページ参照)



- 吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸棚底板にはネジが効きません。水切りパイプ棚等を底板に設置する際には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく設置する。

設置した製品が落下するおそれがあります。



- 扉を開閉可能な角度以上大きく開け過ぎない。

扉が外れて、けがをするおそれがあります。



安全上のご注意(続き)

⚠ 注 意

- 固形、粉末および液体の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。



- 扉や取っ手にぶらさがらない。

扉が外れて、けがをするおそれがあります。



- 引出しやプラスワンカウンターに乗ったり、ぶらさがらない。

引出しレールの変形や、引出し箱が外れてけがをするおそれがあります。



- 包丁差しの固定ねじがゆるんでガタツキが発生したときは、ねじをしめ直すか、販売店に連絡する。

包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。



- 調理器の使用時、使用直後は、操作部以外の調理器及び周辺には、手を触れない。

やけどのおそれがあります。



- 組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。



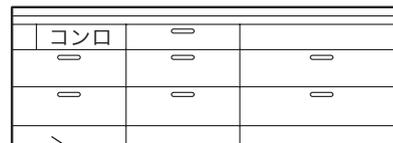
- てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口・シンクに流さない。

シンク裏の防滴材がハガれたり、排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。



- フットスペース収納キャビネットの場合、コンロ下
けこみ部の引出しには、30 kg、その他の引出し(コン
ロ脇小引出しを除く)には、10 kg以上載せない。

引出しが外れてけがをしたり、引出しが下がって床などを傷つけるおそれがあります。



- フットスペース収納キャビネットの引出しを開閉する際には、足などを引出しと床の間に挟まないよう注意する。

引出しに挟まれて、けがをするおそれがあります。



⚠ 注 意

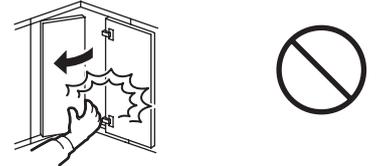
- コンセントや電源プラグに水をかけない。
また、濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電する危険があります。



- 扉開閉時には、丁番に触らない。

丁番に指を挟んでけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

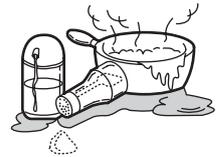


● ご使用上のお願い

ワークトップ・シンク

塩分や油脂分の汚れを放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとしびや変色の原因となりますので、
すぐに洗い流してください。



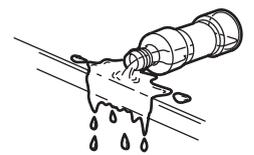
火のついたタバコを置かないでください。

タバコの火は変色の原因になります。



うがい薬（ヨード系）、シンナー、マニキュアの除光液
などが付着した場合、放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとしびの原因となりますので、
すぐに拭き取った後、水で洗い流してください。



硫酸・塩酸系の強酸類や漂白剤は絶対に
使用しないでください。

ワークトップやシンクを傷めたり、変色・変質するおそれがあります。



お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、傷がつくおそれがあります。



ぬれた包丁や缶詰など鉄製のものを放置しないでください。

鉄製のものは水分があるとすぐサビます。
そのサビがもらいサビ及び変色の原因となります。



ご使用上のお願い(続き)

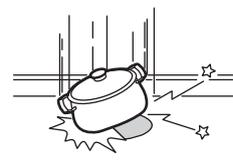
ワークトップ・シンク

ワークトップおよびプラスワンカウンターの上で
直接包丁を使わないでください。



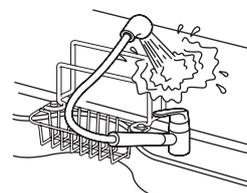
傷がつくおそれがありますので、必ずまな板をご使用ください。

ワークトップやシンクの上に乗ったり、硬い物を落としたり、
重い物を引きずらないでください。



ワークトップやシンクが変形したり、傷がつくおそれがあります。
ナノテクシンクは表面のコーティングがはがれ、性能を発揮できなくなります。

ワークトップに水をかけないでください。



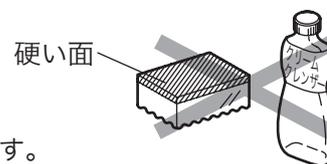
水が流れ落ちて扉や床がぬれてくさるおそれがあります。

金属タワシや、粒子の粗いクレンザーで擦らないでください。



傷がつくおそれがあります。

ナノテクトシンク(エンボスシンク)表面はクリームクレン
ザーやスポンジの硬い面で擦らないでください。



硬いものでこすると表面のコーティングがはがれて性能を発揮できなくなります。

人造大理石にコゲ取り材(塩化メチレン系)は
使用しないでください。

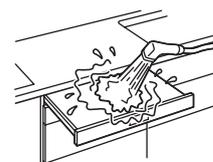


付着した場合、表面が変色することがあります。

L形人造大理石トップの接合部分に乗ったり、重い物を乗せないでください。

接合部分が割れることがあります。

プラスワンカウンターの上に水を流さないでください。



水がキャビネット内に入りふやけたりカビが発生したりくさるおそれがあります。

ワークトップ(人造大理石およびステンレス)の上に直接熱い
フライパンや鍋などを置かないでください。



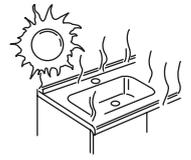
ひび割れ、変色、ふくれや裏面補強材が劣化するおそれがあります。
必ず鍋敷き等をお使いください。

ご使用上のお願い(続き)

ワークトップ・シンク

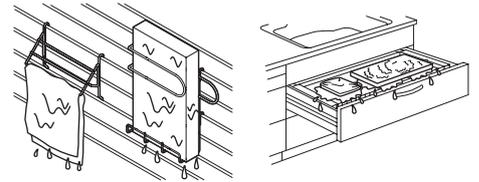
人造大理石は直射日光に当てないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。



スッキリスライド・プルダウンラックの中にぬれたフキン・ぬれたまな板等、ぬれものは収納しないでください。

キャビネット内に湿気がこもり、キャビネットがふやけたりカビが発生したりくさるおそれがあります。



扉

火気を近付けないでください。

その原因になるばかりか、火災の原因となるおそれがあります。



直接日光をあてないでください。

そりや変色の原因となるおそれがあります。



お手入れに台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。



扉・キャビネット・サイドパネルに水がかかったら、乾いた布で拭き取ってください。

扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけたスポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして仕上げてください。

放置すると変色・変質することがあります。

排水トラップ・シンク

排水の流れが悪くなったら、バスケットを点検してください。



排水プレートを外して、野菜くずなどが詰まっていたら取り除いてください。

⚠ 注意

- てんぷら油や多量の熱湯を直接排水口・シンクに流さない。



排水器具などが変形し、水漏れやシンク裏面の防滴材のハガレの原因になることがあります。



●ご使用方法

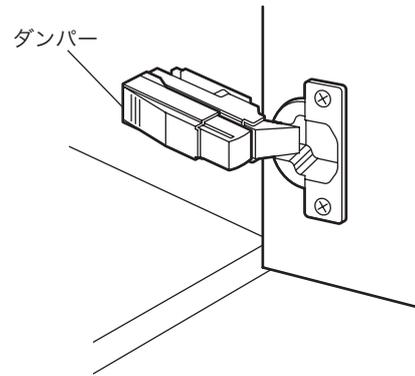
扉の調整方法

- 右図のようなダンパーは取り外しができます。扉の調整をする前にダンパーを取り外してください。扉の調整後、ダンパーを取付けてください。

⚠ 注意

- ダンパーの取外し、取付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。
- けがをするおそれがあります。

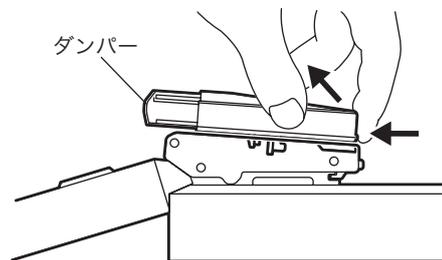
各部の名称



ダンパーの取外し方法 (図-1)

ダンパー先端部を上を持ち上げながら手前に引く。

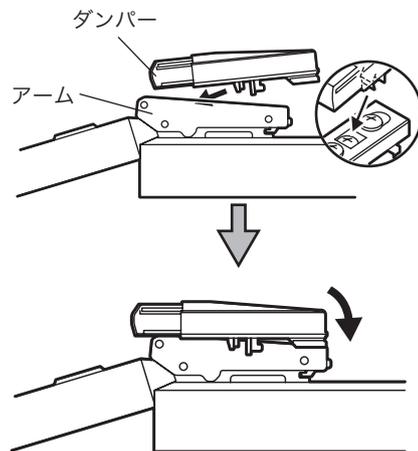
■ 図-1



ダンパーの取付け方法 (図-2)

ダンパー下部の爪をアームの長方形の穴に当て、手前側 (扉側) に少し押す。上から少し押すと取付け完了です。簡単に外れたりしないことを確認してください。

■ 図-2



扉の調整方法 (続き)

- ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。

⚠ 注意

- ゆるめた調整ネジは、調整後にしっかり締め付ける。

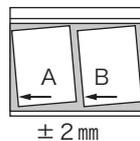
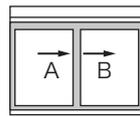
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

左右傾きの調整をする場合 (図-1)

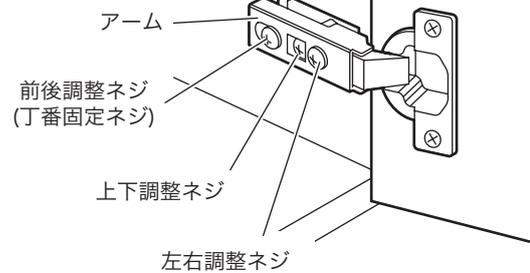
左右調整ネジを回すことで調整が行えます。

左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

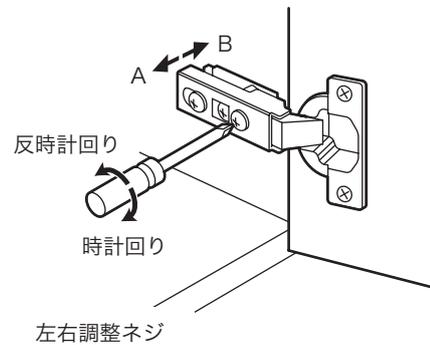
ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mmまでとしてください。



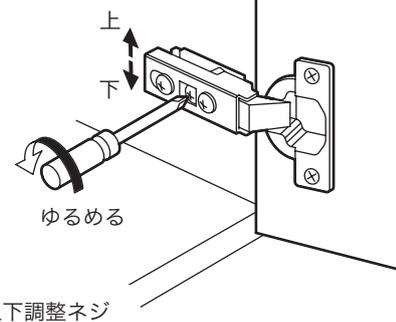
各部の名称



■ 図-1



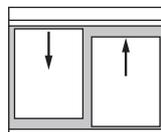
■ 図-2



上下の調整をする場合 (図-2)

上下調整ネジをゆるめます。

扉を上下に動かして、扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締め付けてください。

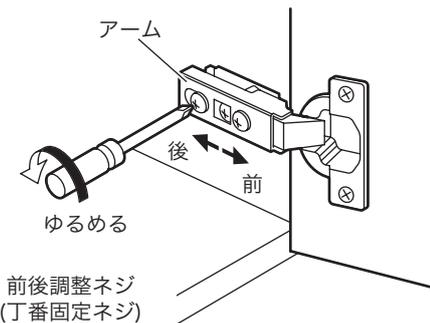
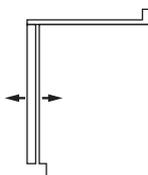


■ 図-3

前後の調整をする場合 (図-3)

前後調整ネジをゆるめます。

アームを前後に動かして、扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締め付けてください。

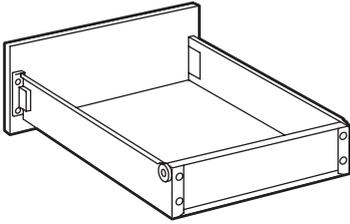


ご使用方法(続き)

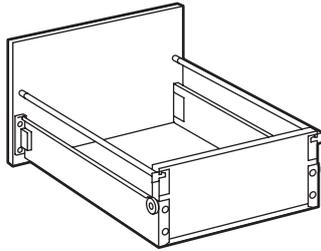
引出し前板の調整方法

引出し前板の調整は、各タイプの調整方法に従って調整を行ってください。

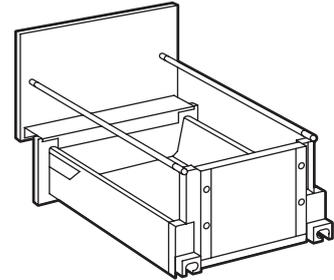
引出しのタイプ



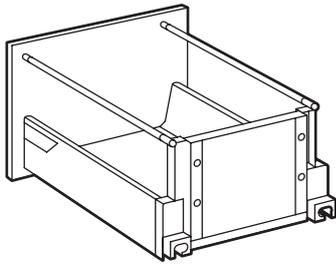
Bタイプ



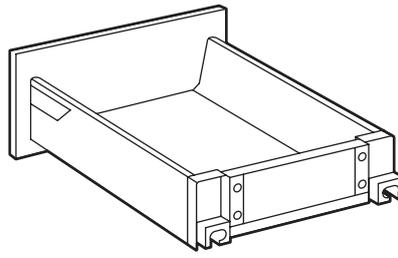
Cタイプ



Dタイプ



Eタイプ



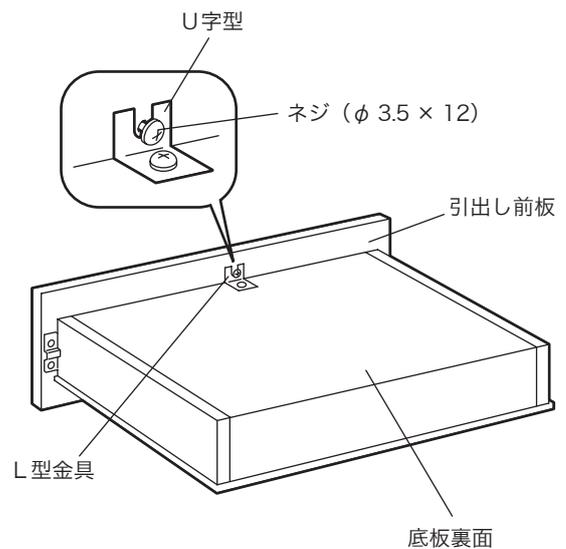
Fタイプ

D・E・Fタイプの間口 60cm 以上の場合

引出し前板を調整する前に、引出し底板に取付けてあるネジ(右図)をゆるめてから前板の調整を行ってください。

※ 調整方法は 14 ページ参照

調整後は、ネジを締め付けてください。



引出しD・E・Fタイプの間口 60cm 用以上のみ

引出し (B・Cタイプ) の取外し、取付けをするには

- 引出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

取外し方法 (図-1)

- ① 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ② ストッパーに当たりましたら、引出しを上を持ち上げます。
- ③ 引出しを手前に引き出します。

⚠ 注意

- 取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

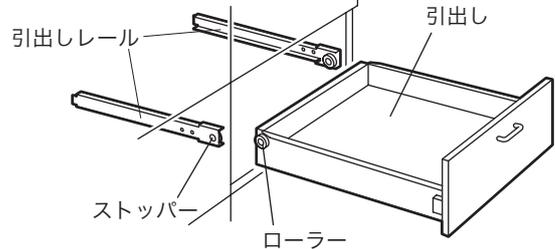
引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



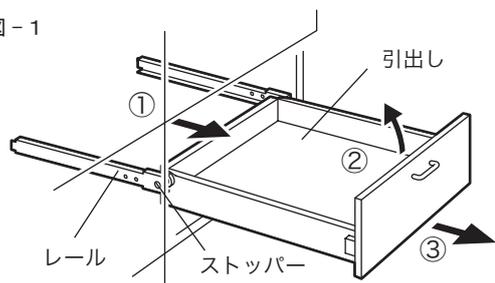
取付け方法 (図-2)

- ① 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ② ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
- ③ 水平に押し込みます。

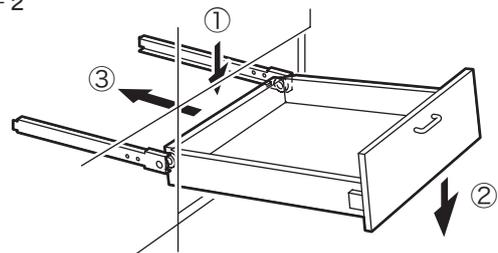
各部の名称



■ 図-1



■ 図-2



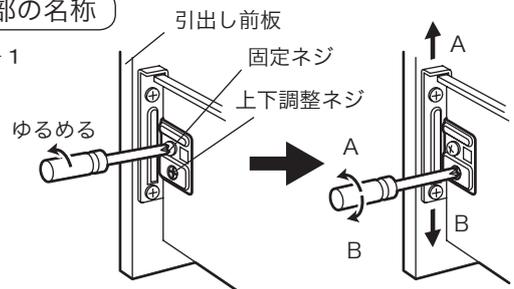
引出し (B・Cタイプ) 前板の調整方法

上下の調整方法 (図-1)

- ① 左右両方の固定ネジをゆるめます。
- ② 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
- ③ 調整後は固定ネジをしっかり締め付けてください。

各部の名称

■ 図-1

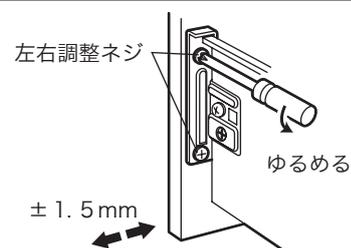


※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。

左右の調整方法 (図-2)

- ① 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板を左右に調整してください。
- ② 調整後は、左右調整ネジをしっかり締め付けてください。

■ 図-2



ご使用方法(続き)

引出し (Dタイプ) の取外し、取付けをするには

引出しの取外し方法 (図-1)

- ① 引出しをいっぱいまで引いてください。
- ② 少し上に持ち上げて、引いて取り外してください。

注意

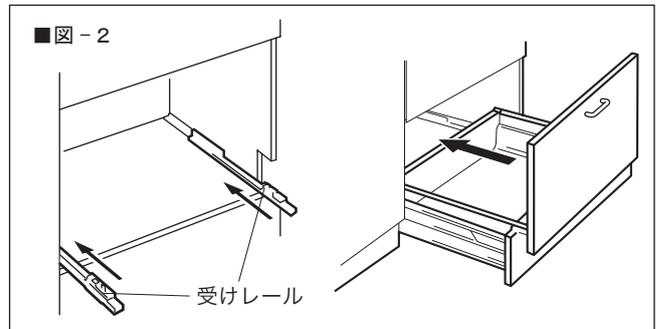
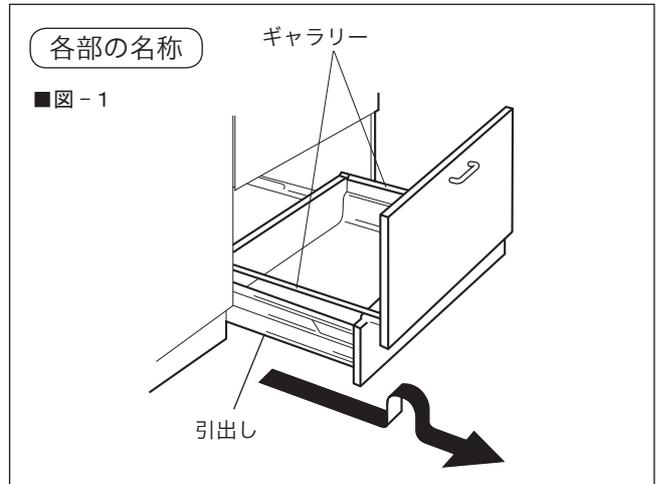
● ギャラリーを持たない。

ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがのおそれがあります。



引出しの取付け方法 (図-2)

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引出しを受レールに乗せてください。
- ③ カチャッと音がするまで引出しを押し込んでください。



引出し (E・Fタイプ) の取外し、取付けをするには

引出しの取外し方法 (図-1)

- ① 引出しをいっぱいまで引いてください。
- ② 少し上に持ち上げて、引いて取り外してください。

注意

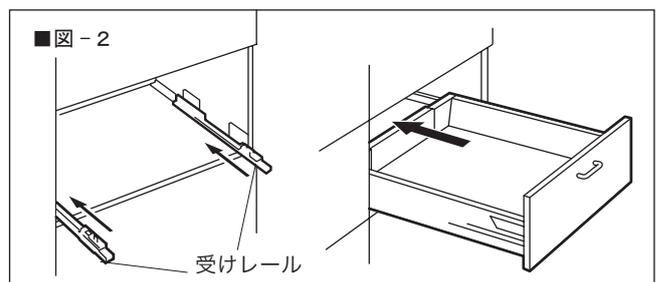
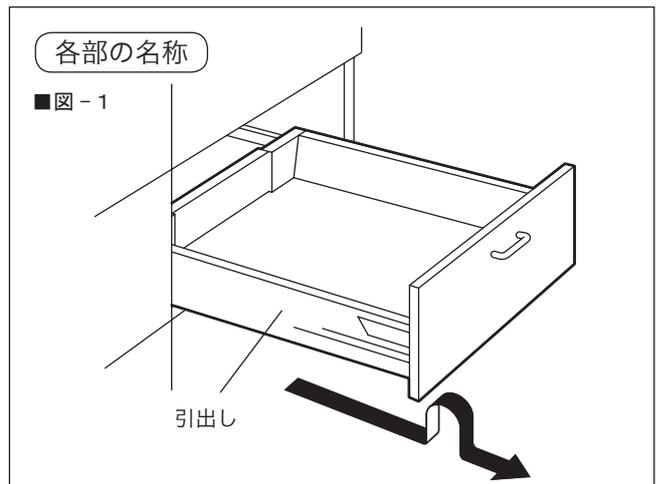
● ギャラリーを持たない。

ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがのおそれがあります。



引出しの取付け方法 (図-2)

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引出しを受レールに乗せてください。
- ③ カチャッと音がするまで引出しを押し込んでください。



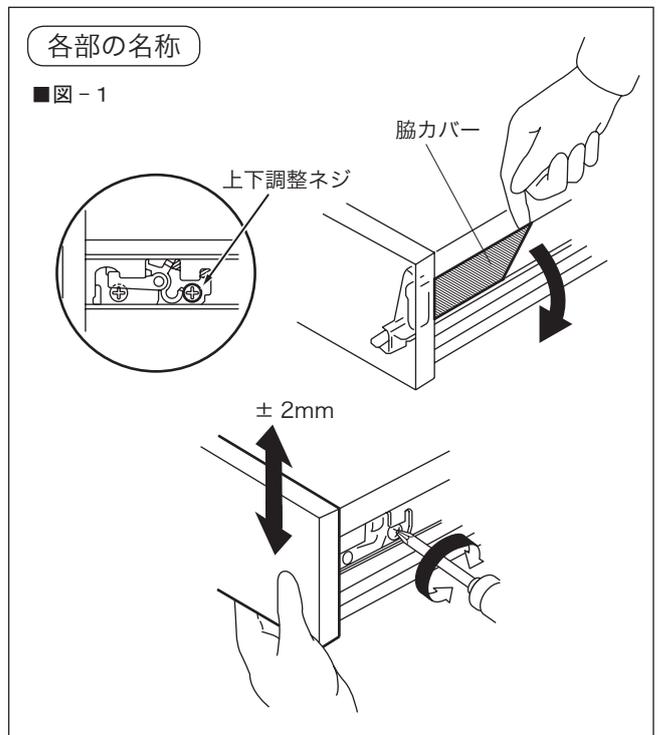
引出し (D・E・Fタイプ) 前板の調整方法

- トゥルリオ (サポート収納タイプ) の場合のみ、ダブルクロスギャラリー、ダブルボックスサイドを取り外してから調整してください。

※ 取外し方法は 17、18 ページ参照

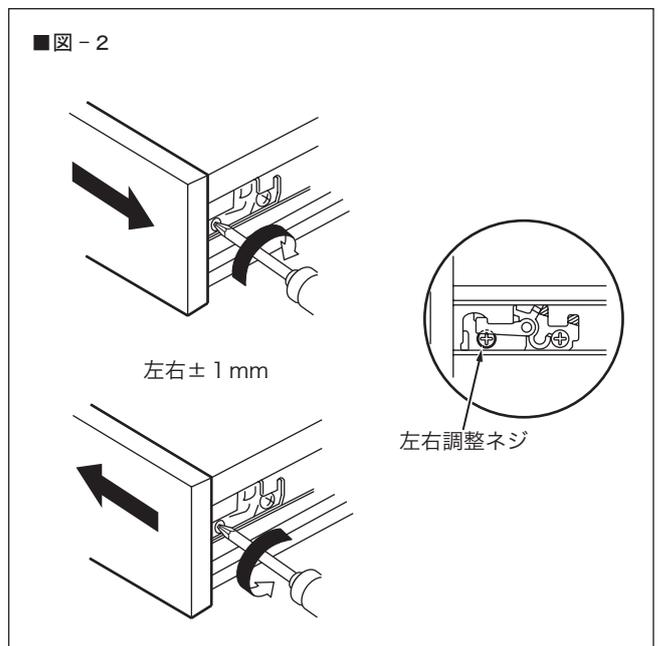
上下の調整方法 (図-1)

- ① 脇カバーを取り外してください。
外す際は上から下に押すようにしてください。
 - ② プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。
- ※ 上下調整ネジは一方方向に回し続けると上下動 (±2mm) をくり返します。



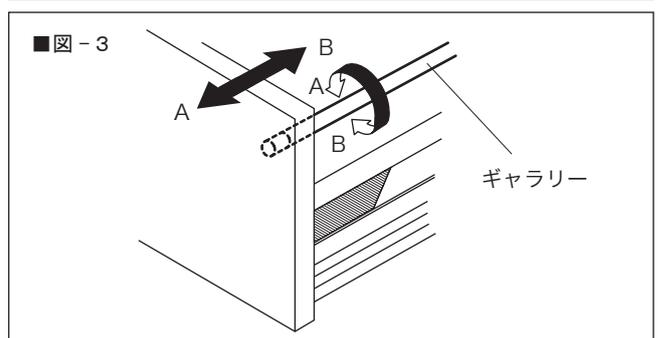
左右の調整方法 (図-2)

- ① 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。
- ② 必ず左右両側の調整を行ってください。



前後の調整方法 (図-3)

- ① ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。



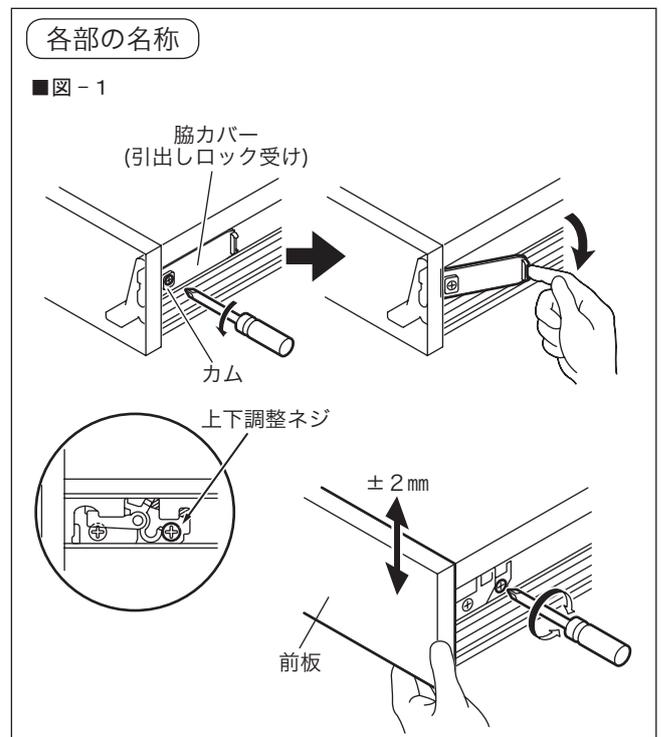
ご使用方法(続き)

引出し (ロック機構付タイプ) 前板の調整方法

上下の調整方法 (図-1)

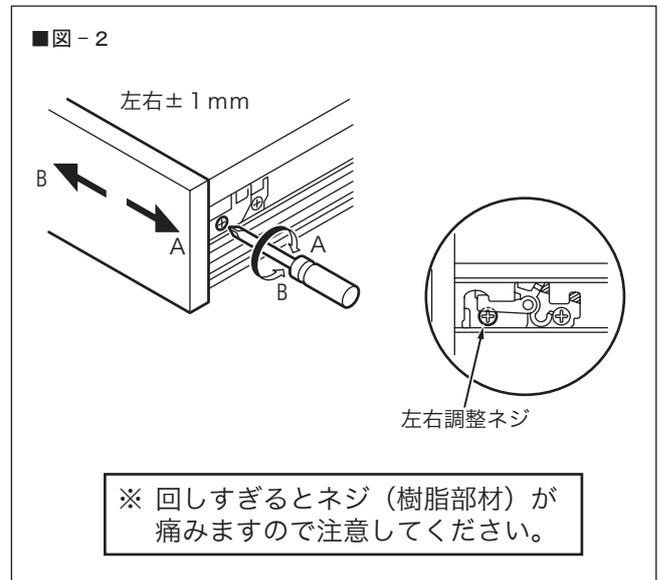
- ① 脇カバー (引出しロック受け) を取り外してください。
- ② 脇カバー (引出しロック受け) のカムを反時計回りに 45° 回転させてください。
- ③ プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

※ 上下調整ネジは一方方向に回し続けると上下動 ($\pm 2\text{mm}$) をくり返します。



左右の調整方法 (図-2)

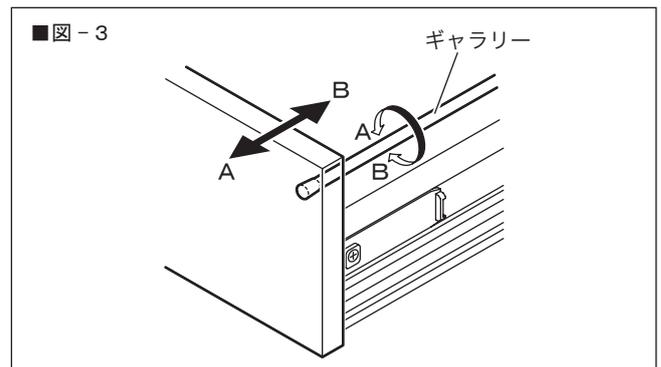
- ① 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。
- ② 必ず左右両側の調整を行ってください。



前後の調整方法 (図-3)

- ① ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。

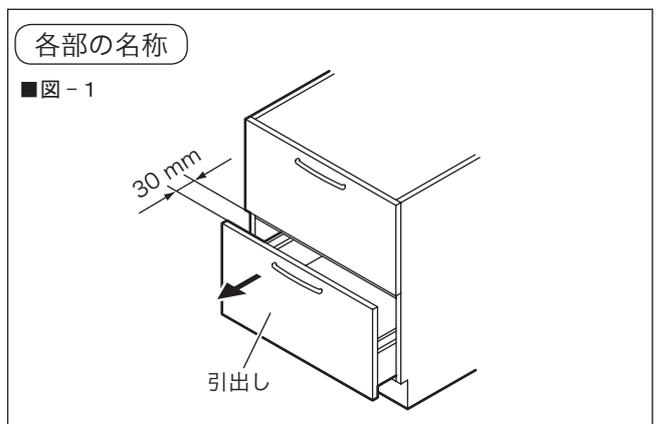
※ 調整後、逆の手順で脇カバー (引出しロック受け) を取付けてください。



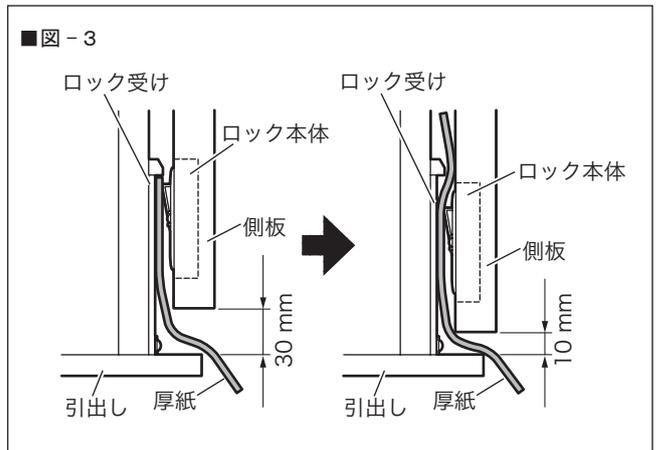
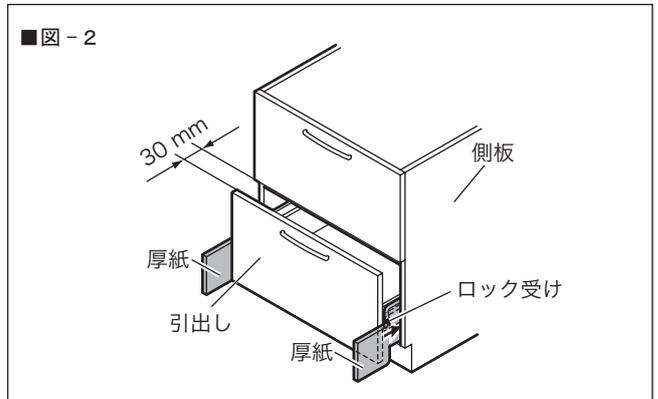
引出し (ロック機構付タイプ) ロック機構解除方法

●地震でキャビネットが傾いた場合は、ロックが掛り解除されませんので、下記方法で強制解除を行ってください。
(地震の揺れがおさまって静止状態になると、通常はロックが自動的に解除されます)

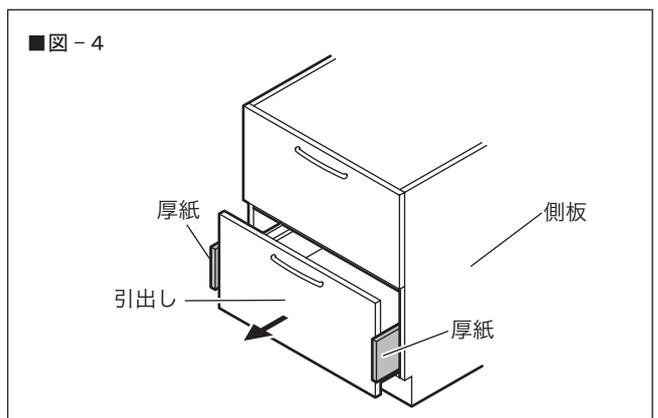
① 引出しを手前に引いてください。
(30mm程度のすき間ができます。)
(図-1)



② 引出しを30mm程度から10mm程度閉めながら厚紙(ダンボールなど:10cm×30cm程度)を左右のロック本体とロック受けの間に差込んでください。
(図-2、図-3)



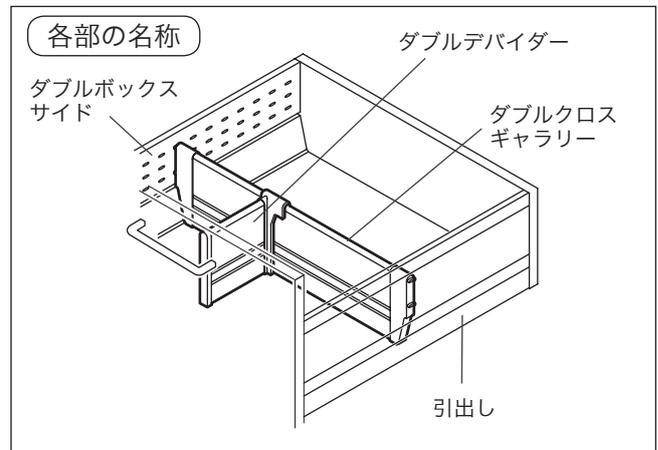
③ 厚紙を差込んだまま引出しを引出してください。(図-4)



ご使用方法(続き)

ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダーについて (サポート収納タイプのみ)

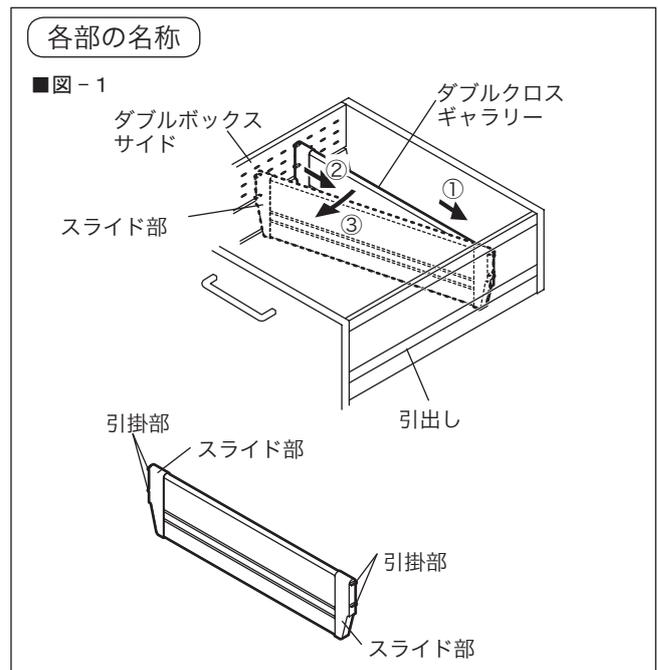
サポート収納タイプには収納物に合わせてお好みの位置に取付けられる間仕切り (ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダー) を付属しています。



ダブルクロスギャラリーの取外し、取付けをするには (サポート収納タイプのみ)

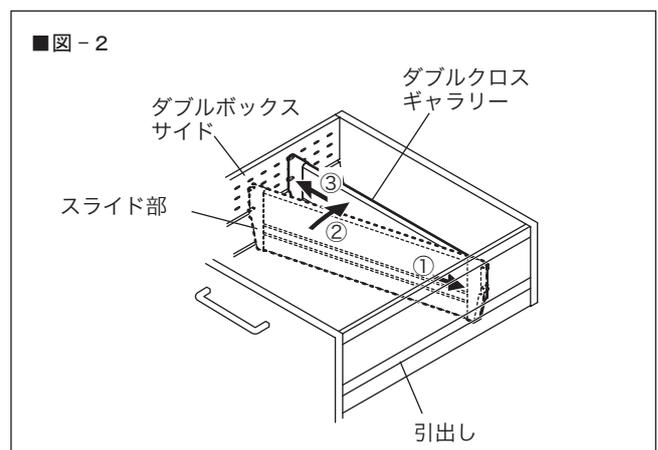
取外し方法 (図-1)

ダブルクロスギャラリーのスライド部を片側に押しながら、ダブルボックスサイドから取り外してください。



取付け方法 (図-2)

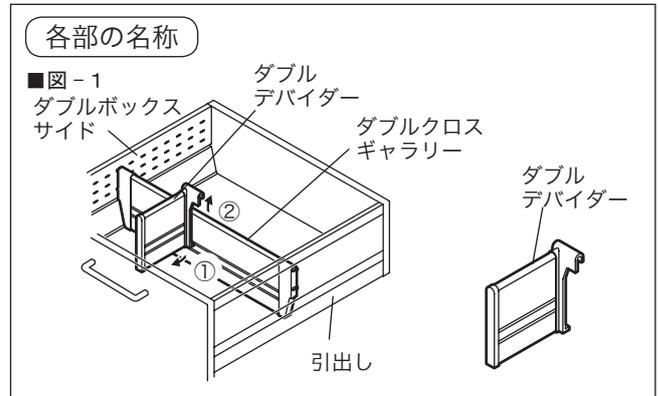
ダブルクロスギャラリーのスライド部を片側に押しながら、引掛部をダブルボックスサイドの取付穴に合わせて取付けてください。



ダブルデバイダーの取外し、取付けをするには (サポート収納タイプのみ)

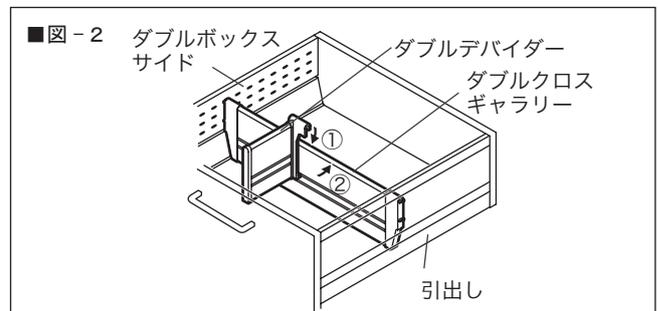
取外し方法 (図-1)

ダブルデバイダーの下側を引きながら上に持ち上げてダブルクロスギャラリーから取り外してください。



取付け方法 (図-2)

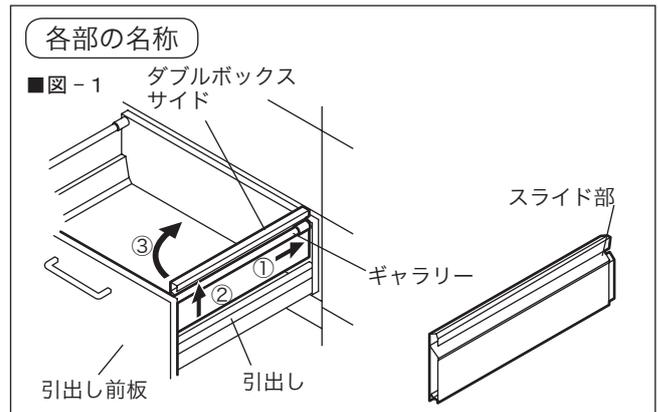
ダブルデバイダーをダブルクロスギャラリーの上にのせて、ダブルデバイダーの下側をダブルクロスギャラリーにはめ込んでください。



ダブルボックスサイドの取外し、取付けをするには (サポート収納タイプのみ)

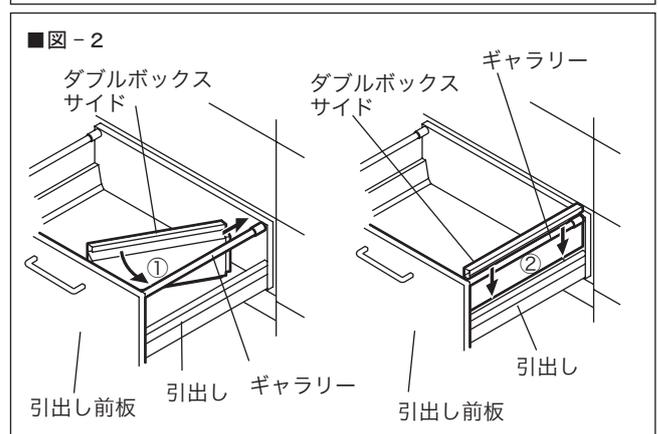
取外し方法 (図-1)

- ① ダブルボックスサイドを奥方向へ押しながら上に持ち上げて、ギャラリーから取り外してください。
- ② 奥側を支点にしてダブルボックスサイドを、内側に倒しながら取り外してください。



取付け方法 (図-2)

- ① スライド部を奥側に押し付けながら、引出し上部にダブルボックスサイドの下部を合わせてください。
- ② ギャラリーにガチャと音がするまで差し込んで取付けてください。



ご使用方法(続き)

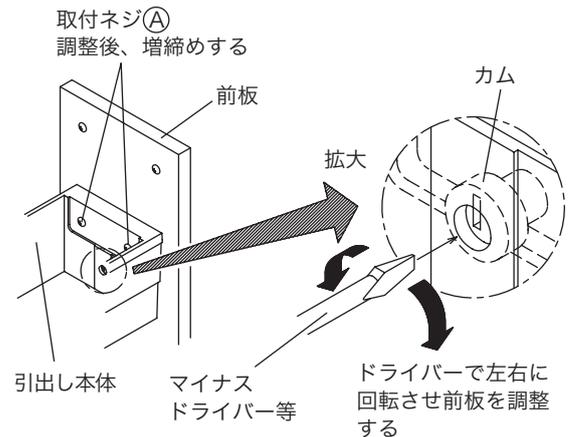
コンロ脇小引出し前板の調整方法 (ツールリオシリーズのみ)

前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ネジ④(2ヶ所)をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めます。

必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。

調整が完了したら、ネジを増締めしてください。

各部の名称



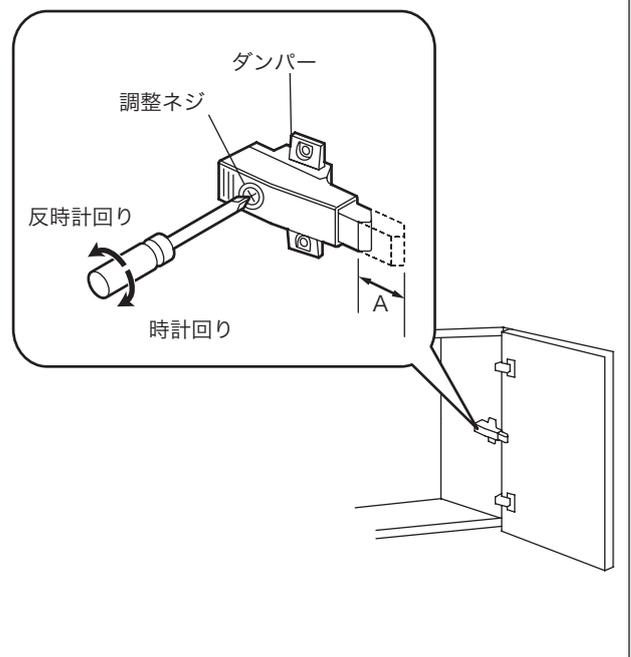
ブルモーション扉 (ダンパー) の調整方法

ニースペースタイプの開き戸、コーナーキャビネット、コーナー吊戸の一部に、右図のダンパーを使用しています。

調整ネジを時計回りに回すとAの部分長くなり、ダンパーが早く効きはじめ、扉がゆっくりと閉まります。

調整ネジを反時計回りに回すと、Aの部分短くなり、ダンパーが遅く効きはじめ、扉が早く(弱く)閉まります。

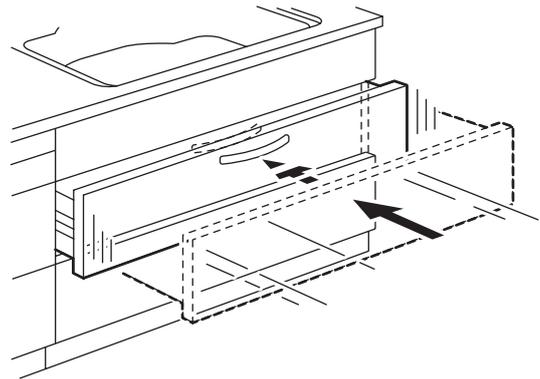
各部の名称



ブルモーション機能について

引出しを閉めると、閉まる手前で衝撃を吸収して静かに閉まります。

各部の名称



お願い

- 引出しを急激に閉めないでください。

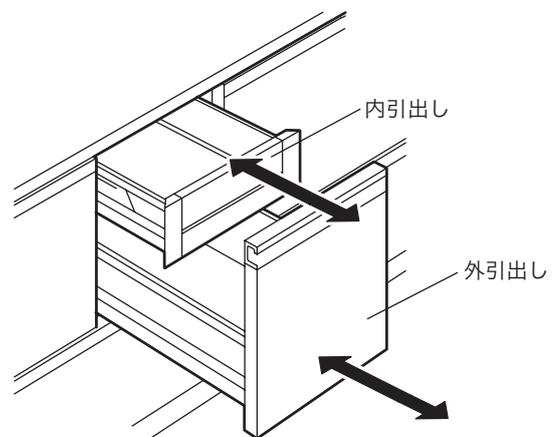


引出しおよび引出し内の収納物が破損するおそれがあります。

内引出しについて (サポート収納タイプのみ)

外引出しの開閉に合わせて内引出しを連動させることができます。

各部の名称



お願い

- 内引出しを急激に開閉しないでください。



外引出しに干渉し引出しおよび引出し内の収納物が破損するおそれがあります。

ご使用方法(続き)

プッシュオープン引出しについて

プッシュオープン引出しの操作方法 (図-1)

- プッシュオープン引出しの前板を押すと、引出しが26cm程(引出しの大きさ、収納量により異なります)出てきます。
- 誤作動を防ぐため、トッテ付近を押した場合は、引出しが出づらくなっています。引出し前板の中央から下の部分を押ししてください。
- 引出しを閉める際は手を添えてゆっくりと閉めます。途中まで若干の抵抗がありますが、抵抗がなくなったら手を離してください。
- 引出しを閉める際は最後まで押し込まないでください。最後まで押し込むとロックが外れ、引出しが出てきます。最後まで閉めなくてもソフトクローズ機構の働きで引出しは閉まります。
- 引出しを急激に閉めないでください。急激に閉めると勢いでロックが外れ、引出しが出てくる場合があります。
- プッシュオープン引出しは通常通り手で引出すこともできます。
- 引出しを閉めても閉まらない場合は、一度引出しを26cm以上引き出してから閉めてください。

プッシュオープン引出しの調整方法 (図-2)

- 引出し前板中央部分を押しても引出しが出てこない場合は、前板の前後の調整をして前板の上部を少し手前に倒してください。(17～18ページ、ダブルクロスギャラリィ・ダブルボックスサイド着脱方法、19ページ、コンロ脇小引出し前板の調整方法)

引出しを閉める際に異音が生じ、閉まらなくなった場合

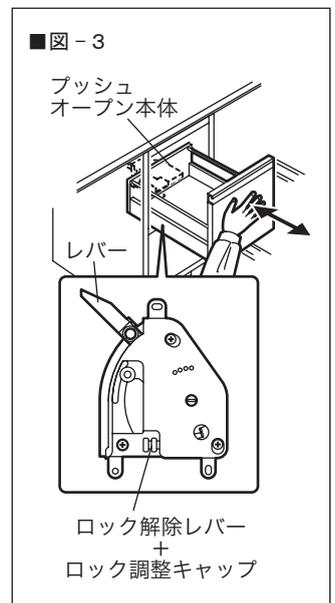
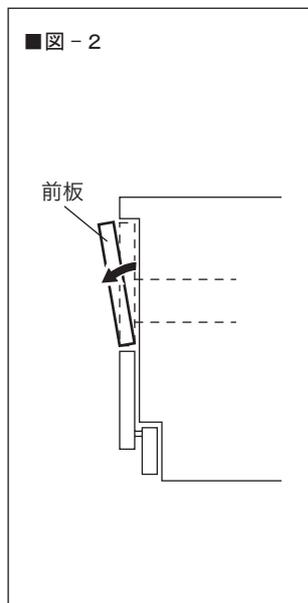
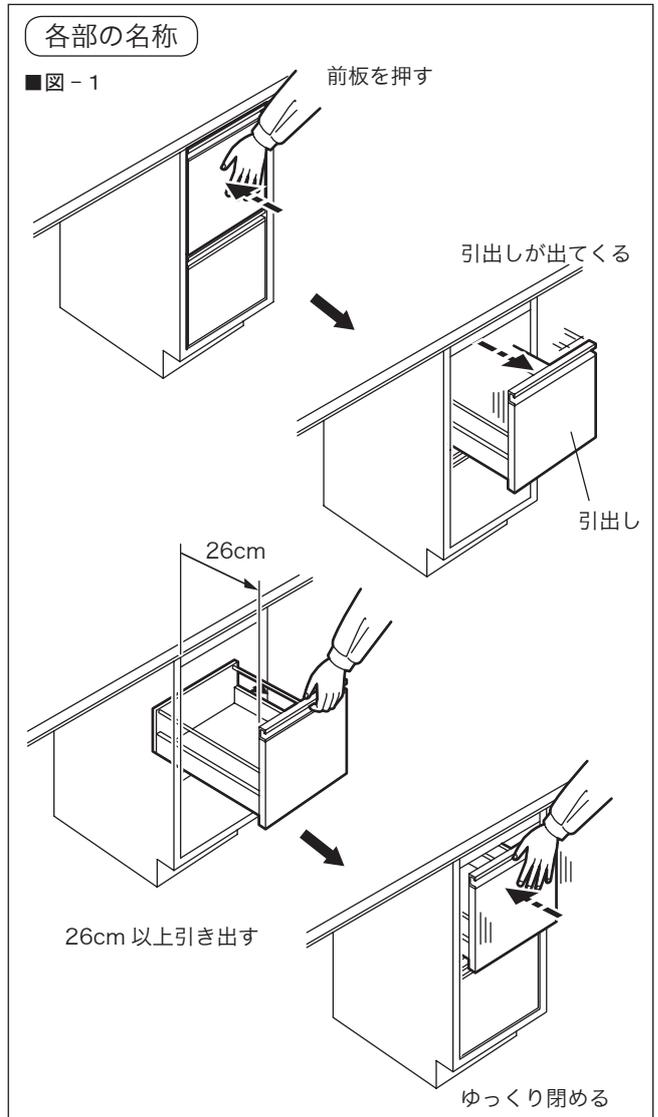
(図-3)

- 引出しを閉める際に大きな金属音がして閉まらなくなった場合は、販売店または巻末のお問い合わせ窓口(修理のご用命)にご連絡ください。危険ですので、プッシュオープン本体には手を触れないでください。

注意

- プッシュオープン機能を使う際には周囲に子供や障害物がないことを確認する。
- レバーおよびロック解除レバーには触らない。

レバーが戻り、けがをするおそれがあります。



棚板の高さを変えるには

- 棚板の高さを変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

取外し方法 (図-1)

棚板を上方向に持ち上げて、取り外してから、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引抜いてください。プルダウンラック付吊戸棚の場合は、棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。

注意

- 棚板の高さを変える際には、棚板上だけでなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。

収納物が落下して、けがをすることがあります。

- 棚板端のミゾよりも少し内側に手を添えて持ち上げる。

棚板と棚受けの間に手がはさまって、けがをすることがあります。

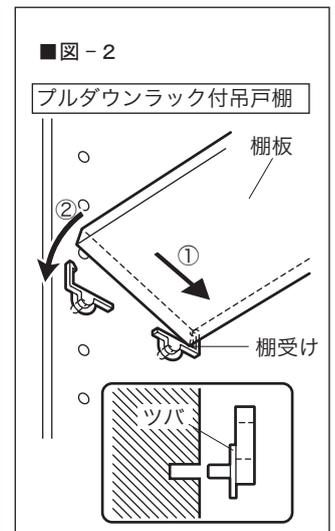
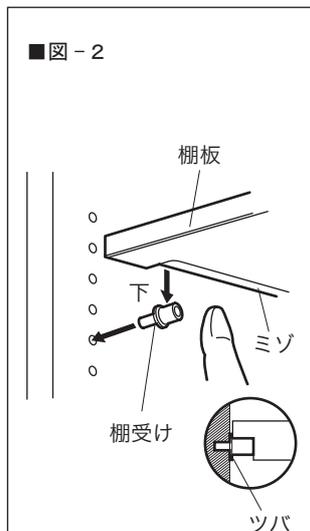
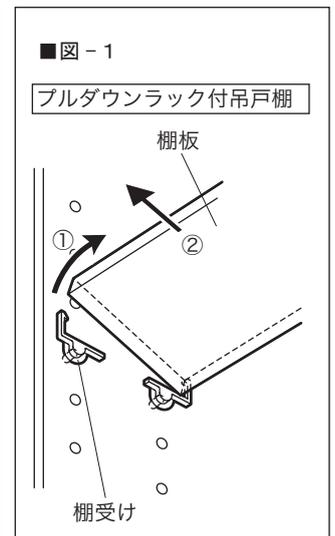
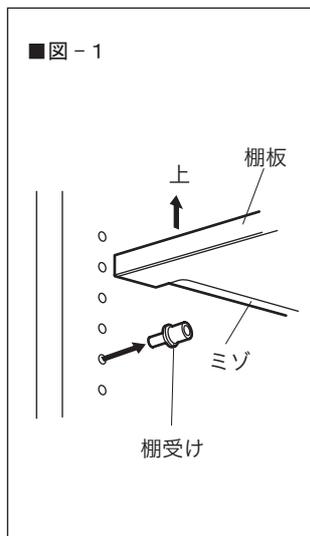
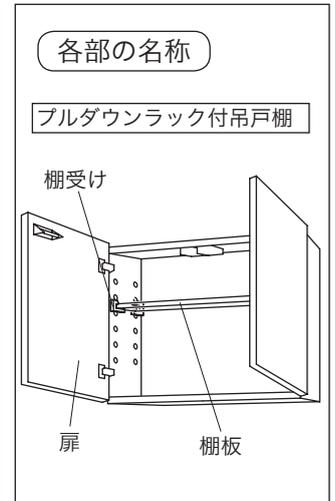
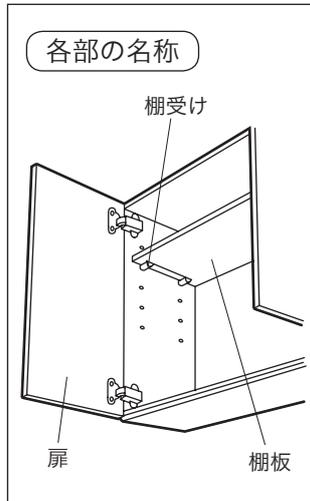
取付け方法 (図-2)

左右で計4ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから棚板を載せてください。

注意

- 棚受けは、4ヶ所同じ高さにセットする。

棚板が安定せず、外れて上の収納物が落下して、けがをすることがあります。



棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

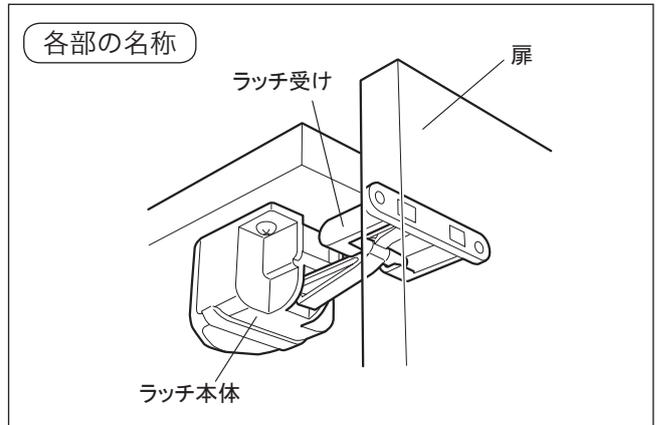
棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

ご使用方法(続き)

ロック機構付きキャビネットについて

地震などの揺れを感知して扉を自動的にロックし、収納物の飛び出しを防ぎます。

※ 設置状態、収納物、振動の状況等によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

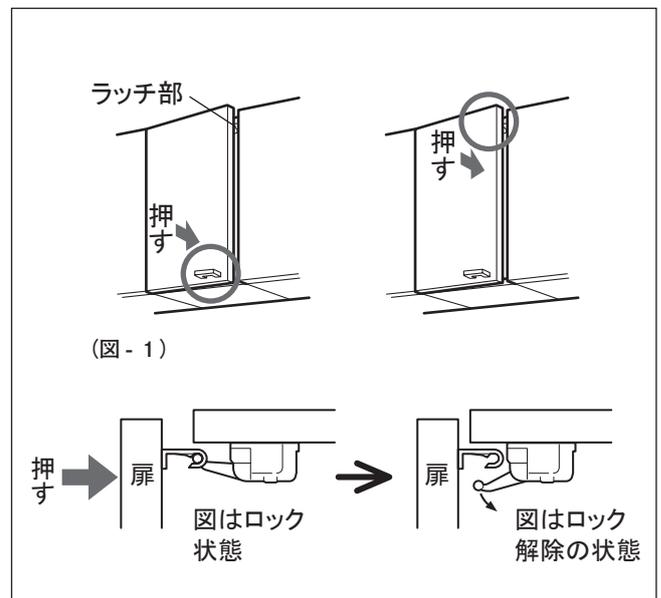


ロック機構の解除方法

- ① 扉に物が挟まっていないか確認してください。
- ② ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。(図-1)
- ③ 収納物が崩れ落ちないように注意して開けてください。

※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体(壁や床など)にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



⚠ 注意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が、有効に働かなくなるおそれがあります。



- キャビネットに収納物をのせすぎない。

キャビネットが変形しロック機構が作動し扉が開かなくなるおそれがあります。

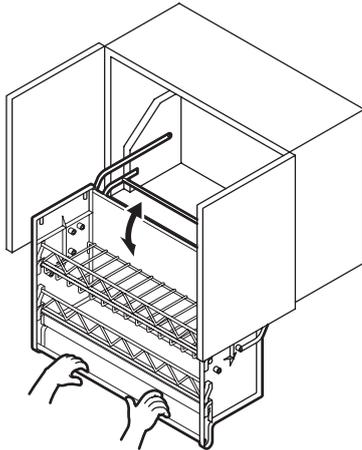


スイングダウンウォール付吊戸棚について

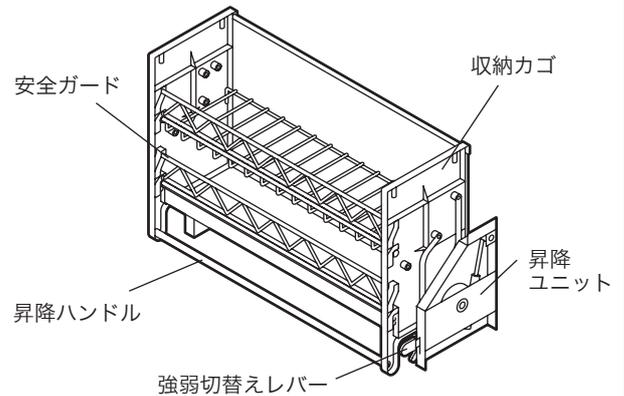
使用方法

収納カゴの昇降方法

- 扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。

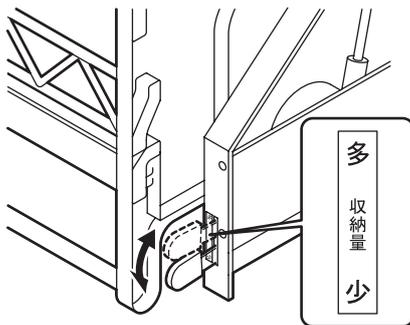


収納カゴ各部の名称



収納量による強弱切替えレバーの操作

- 右の表を目安に強弱切替えレバーを収納量に応じて調節し、適切な範囲で使用してください。また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して必要があれば調節してください。



収納重量 / レバー	左レバー	右レバー
約 0 ~ 5 kg	少	少
約 4 ~ 9 kg	少	多
	多	少
約 10 ~ 15 kg	多	多

- 衝撃が無く、下まで降下する状態がそのレバー設定の目安です。
- 収納カゴがおさまっている時に、レバーの切替をしてください。

(収納カゴが下がっている時には、レバーは切替できません。)

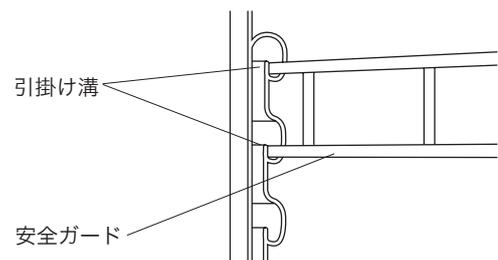
安全ガードの移動方法

安全ガードを両手で持ち、上下に移動させてください。安全ガードの両端は確実に、引掛け溝に入れてください。

注意

- 収納物の落下防止のため、必ず安全ガードをかける。

収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



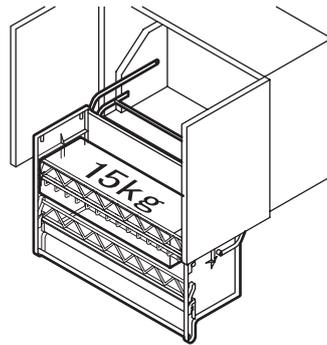
ご使用方法(続き)

スイングダウンウォール付吊戸棚について (続き)

※スイングダウンウォール付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

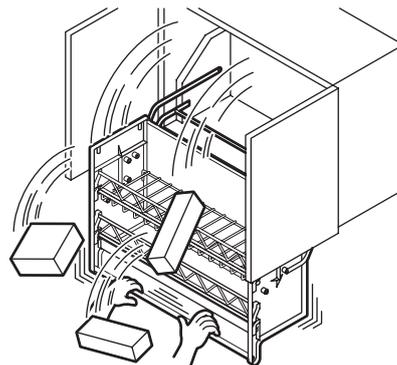
⚠ 注 意

- スイングダウンウォールの収納カゴには、15 kg以上載せない。
(直径 20cm 程度の皿 (約 500 g) 30 枚までを目安としてください。
但し、皿の材質、形状により異なります。)



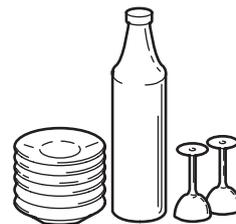
スイングダウンウォールが壊れ、収納物が飛び出してくることによりけがをする危険があります。

- スイングダウンウォールの収納カゴの操作は、ゆっくりと行う。



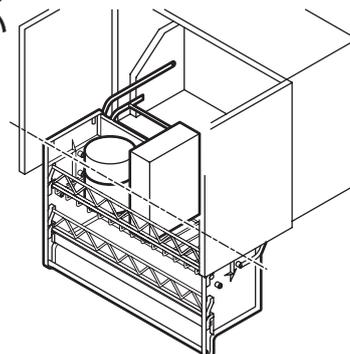
故障の原因や収納物が落ちてけがをする危険があります。

- ビンなどの不安定なものや、すべりやすいものは収納しない。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が落ち、けがをする危険があります。

- 収納物が、収納カゴ側板の高さより上へ出たり、収納カゴの底面、背面のすきまからズレないように収納する。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が吊戸棚本体に当たることにより収納物が飛び出し、けがをする危険があります。

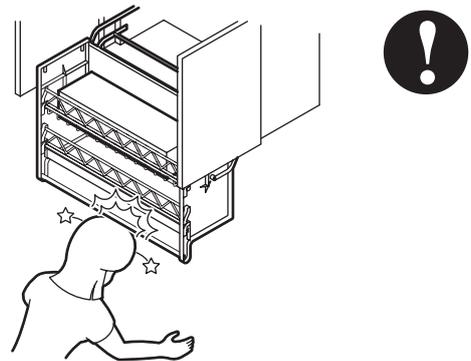
スイングダウンウォール付吊戸棚について (続き)

※スイングダウンウォール付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

⚠ 注 意

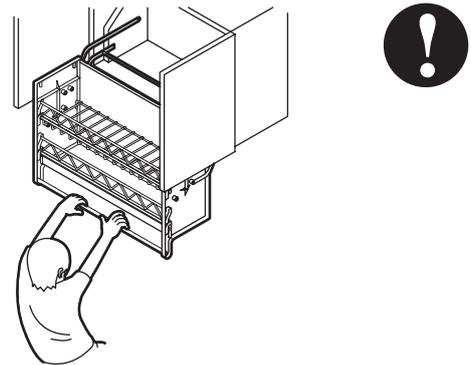
- 調理作業時に収納カゴを降ろしたまま放置しない。

収納カゴに頭などをぶつけ、けがをする危険があります。



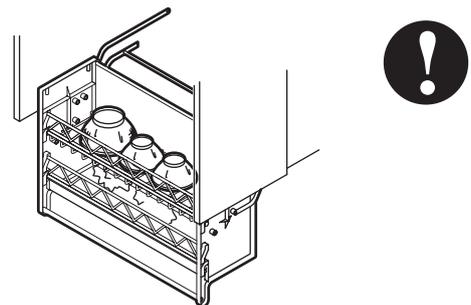
- スイングダウンウォールの昇降ハンドルにぶらさがらない。

スイングダウンウォールや、収納物が落ちてけがをする危険があります。



- スイングダウンウォールの収納カゴにぬれたものを収納しない。

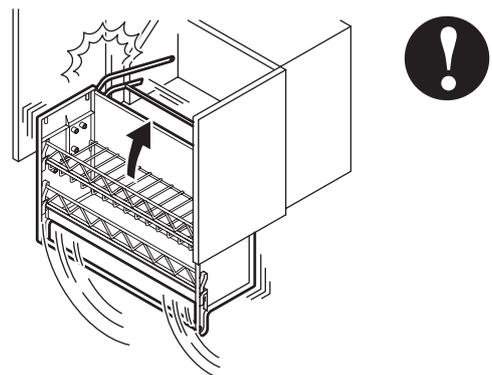
スイングダウンウォール機器にサビが発生して故障の原因になります。



- 強弱切替えレバーは収納重量に対して適切にセットする。

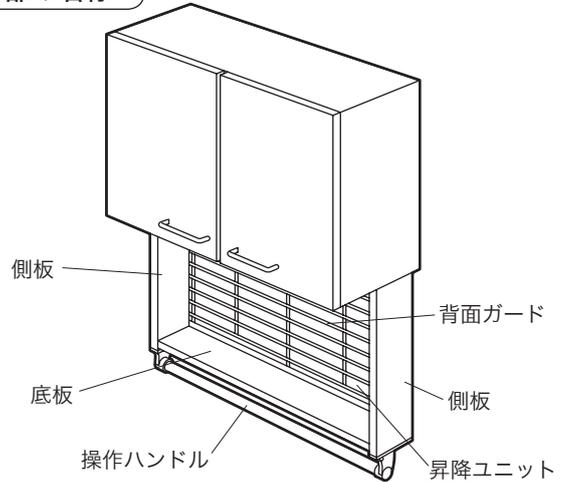
無積載の時、レバーを(多・多)にしないでください。収納カゴが勢いよく戻ります。

15 kg積載時レバーを(少・少)にしないでください。収納カゴが急降下してけがをするおそれがあります。



プルダウンラック付吊戸棚について

各部の名称

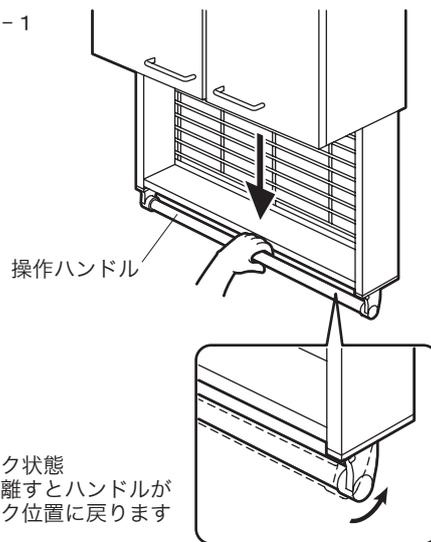


使用方法

①昇降ユニットを降ろす (図-1)

操作ハンドルの中央付近をしっかり握り、ロック状態のままゆっくり下に引き降ろします。
(降ろす際は、特にハンドルを手前に引く必要はありません)
※積載物が軽い場合、強く引く必要があります。

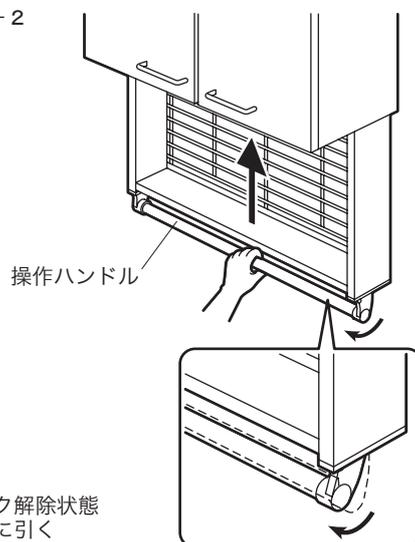
■ 図-1



②収納ユニットを上げる (図-2)

操作ハンドルの中央付近をしっかり握り、ハンドルを手前に引き、ロック解除状態にし、ハンドルを握ったままゆっくりと昇降ユニットを上げます。
操作ハンドルから手を離す際は、操作ハンドルをロック状態に戻してから離してください。
※積載物が軽い場合、収納カゴが急激に引き上げられますので特に注意してください。

■ 図-2



プルダウンラック付吊戸棚について (続き)

使用方法

●ラック類の取付け

プルダウン用のラック類には4ヶ所のフックがあります(2タイプ)。昇降ユニットの背面ガードに4ヶ所のフックを確実に引っかけて使用してください。

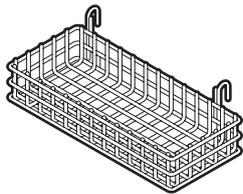
⚠ 注意

●市販品のラック類を取付けない。

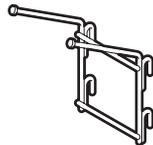
キャビネットと干渉し、収納物が落下するおそれがあります。



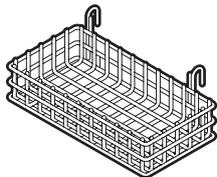
各種ラック類の名称



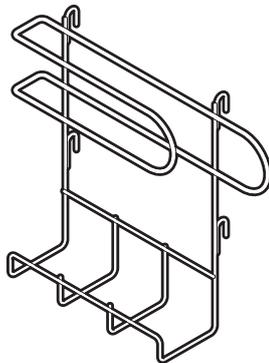
調味料ラック(大)
(間口900のみ付属)



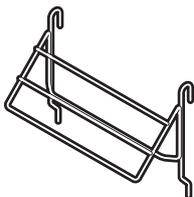
レードルラック
(本体に付属)



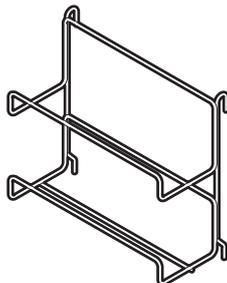
調味料ラック(小)
(間口450、300に付属)



まな板ラック
(オプション)

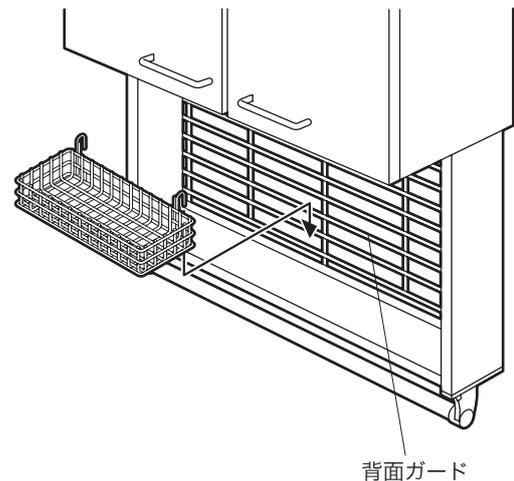
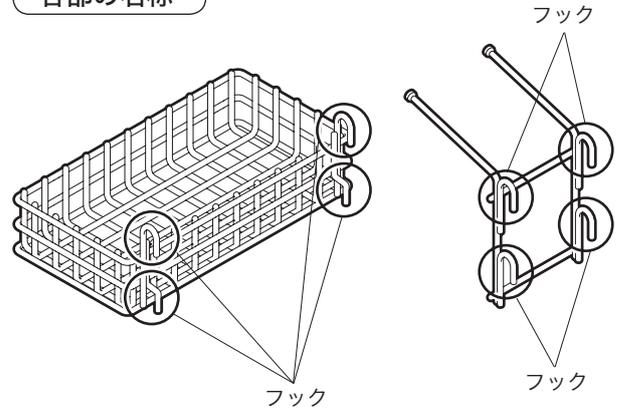


フキン掛け
(間口900のみ付属)



ラップホルダー
(オプション)

各部の名称



ご使用方法(続き)

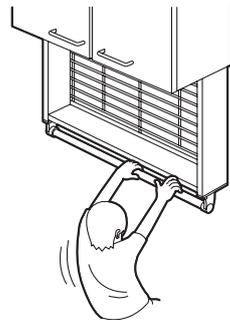
プルダウンラック付吊戸棚について (続き)

※プルダウンラック付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

⚠ 注 意

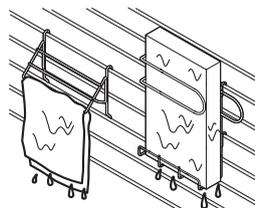
- 昇降ユニットやハンドルにぶらさがらない。

昇降ユニットや収納物が落ちてけがをするおそれがあります。

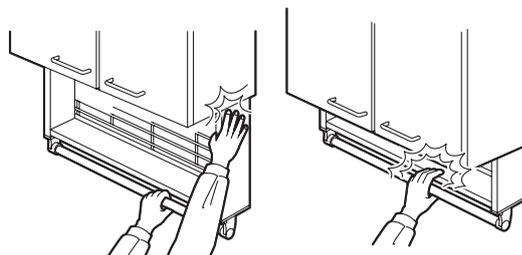


- 昇降ユニットやラック類にぬれたものを収納しない。

サビが発生して故障の原因になります。



- 昇降時に昇降ユニット本体を触らない。
指をはさみ、けがをするおそれがあります。



- 昇降ユニットを降ろすときは、下部にもものがないことを確認する。(約45cm下がります。)

ものに当たって収納物が落下し、けがをするおそれがあります。

- 昇降ユニットを昇降させるときは、ハンドルの中央付近をしっかりと握りゆっくり操作する。
上昇させるときは必ず手を添えたままゆっくり操作する。

急激な操作を行うと、収納物が落下しけがをするおそれがあります。

- 許容積載量以上は収納しない。

サイズ	W900用	W450用	W300用
許容積載量	3.0kg	1.5kg	1.0kg

許容積載量は付属の小物ラック類を除く積載物の重量をしめす。

許容積載量を超えた場合、昇降ユニットをキャビネット内に収められません。無理に収めると昇降ユニットが降下し、収納物が落下し、けがをするおそれがあります。

プルダウンラック付吊戸棚について (続き)

※プルダウンラック付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

⚠ 注意

● 収納物は昇降ユニットからはみ出さないこと。

収納物がキャビネットに当たって落下し、けがを
おそれがあります。



● 操作ハンドルに物を掛けたり、つるしたりしない。

昇降操作を阻害し、異常な動作につながり、危険や故障を
引き起こすおそれがあります。



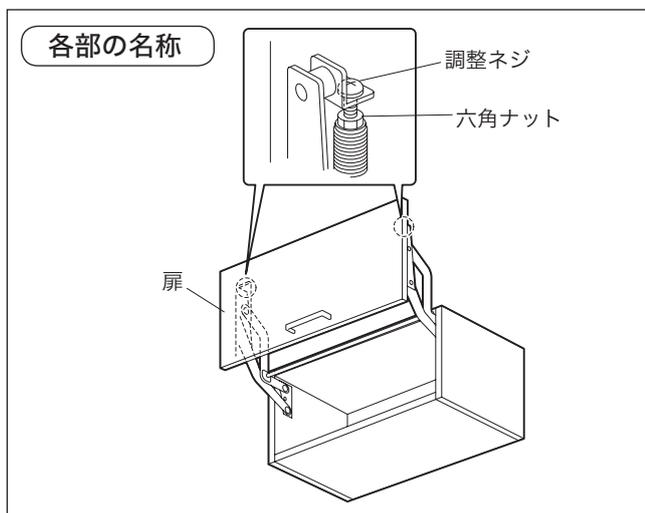
スイングアップステー付吊戸棚 扉の調整方法

扉開閉の時、扉が勢いよく開いてしまったり閉じてしまう場合や、扉を開けた時、扉が自重により下がってき
てしまう場合は、下記要領にて調整をおこなってください。

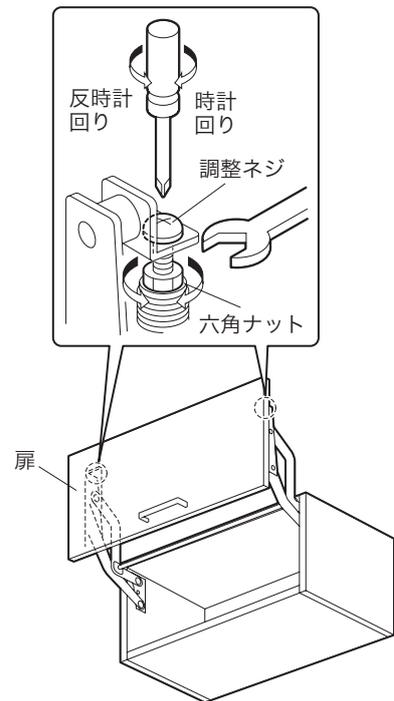
スイングアップステー付吊戸棚

扉の調整方法

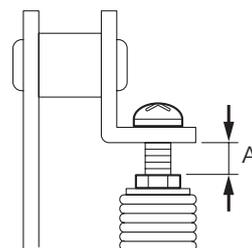
- ① 扉を開け、左右の六角ナットをゆるめてください。
- ② 扉が勢いよく開閉してしまう場合は、左右の調整ネジを反時計回り方向に回してください。
扉が自重により下がってきってしまう場合は、左右の調整ネジを時計回り方向に回してください。(図-1)
- ③ 調整後、左右の六角ナットを締めつけてください。
※左右のAの部分の長さが同じくらいになるようにしてください。(図-2)



■ 図-1



■ 図-2



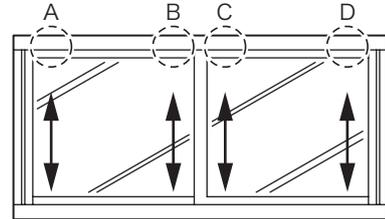
ご使用方法(続き)

アルミ引戸タイプ吊戸棚・デッキカウンスライド収納 アルミ引戸の調整方法

アルミ引戸の調整方法 (図-1)

- アルミ引戸が傾いている場合にはプラスドライバーで図のように調整してください。
- ※ 高さ調整をする前に左引戸の取手を取り外してください。

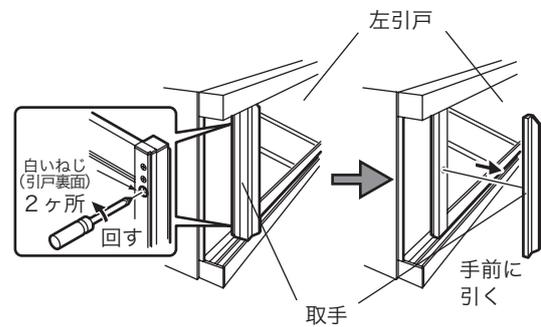
■ 図-1



取手の取外し方法 (図-2)

- 左引戸取手の裏面の白いねじ (上下2ヶ所) をドライバーで外し、取手を手前に引く。
- ※ 白いねじ以外は外さないでください。

■ 図-2



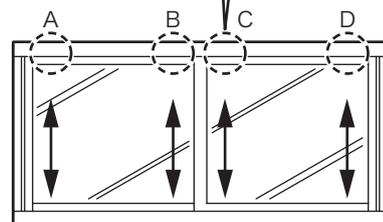
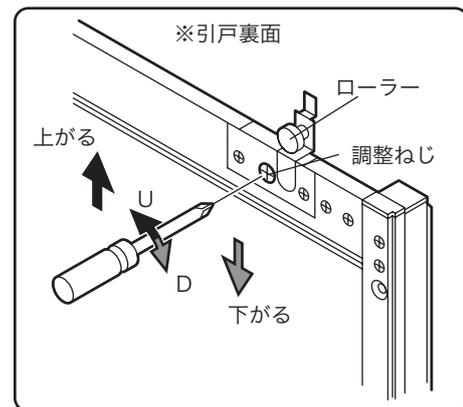
高さの調整方法 (図-3)

- 引戸裏面上部のローラー (A、B、C、D) 調整ねじをまわして引戸の高さを調整し、傾きを直す。

- ・ Dの方向 (右) に回すと引戸が下がります。
- ・ Uの方向 (左) に回すと引戸は上がります。

- ※ 上レールとアルミ引戸のすき間は、2~4mm程度に調整してください。

■ 図-3



⚠ 注意

- 引戸を勢いよく開けたり閉めたりしない。

破損・変形の原因となります。



- 引戸にぶつかったり、寄りかかったりして、無理な力をかけない。

破損・変形の原因となります。

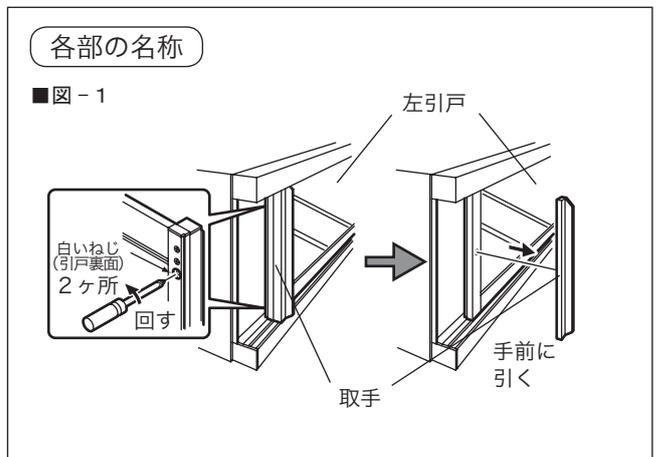


アルミ引戸タイプ吊戸棚・デッキカウンタースライド収納 アルミ引戸の取外し、取付けをするには

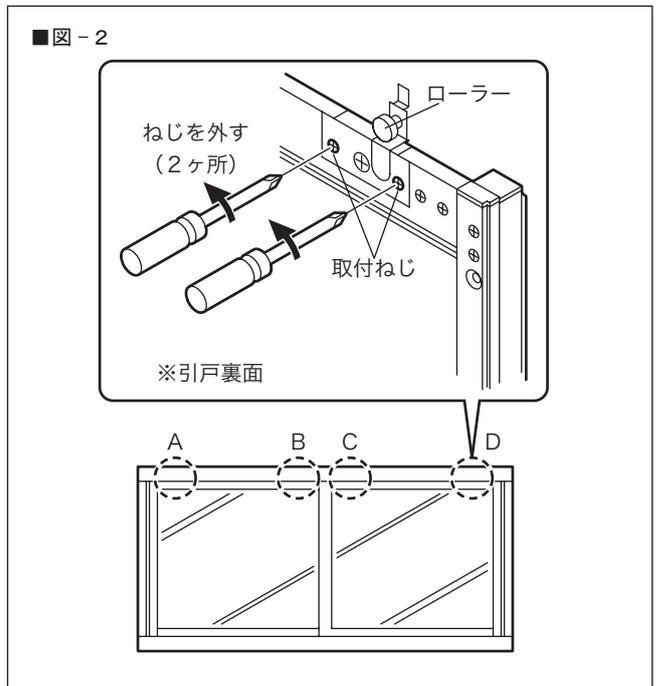
- アルミ引戸の取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

アルミ引戸の取外し方法、取付方法 (図-1)

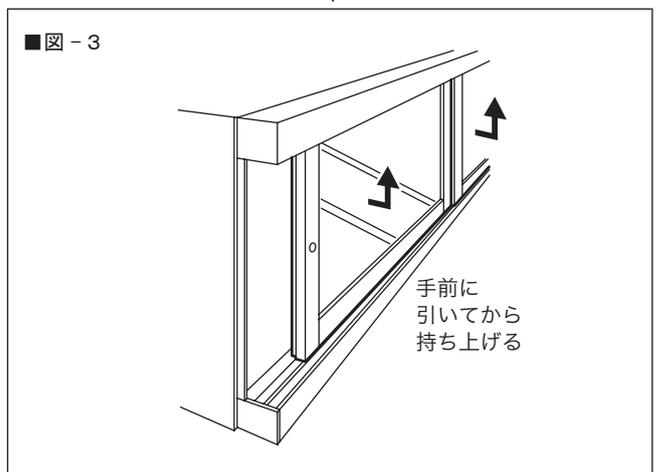
- ① 左引戸の取手を取り外してください。
 - 左引戸取手の裏面の白いねじ (上下2ヶ所) をドライバーで外し、取手を手前に引く。
- ※ 白いねじ以外は外さないでください。



- ② 引戸裏面上部のローラー固定部 (A、B、C、D各2ヶ所) の取付ねじを外す。(図-2)



- ③ アルミ引戸上部を手前に引いてから持ち上げて外す。(図-3)
- ※ 取付けは逆の順序で行ってください。



⚠ 注意

- アルミ引戸の取付後は、確実に取付いていることを必ず確認する。

正しく取付けられていないとアルミ引戸が落下して、けがの原因となります。



ご使用方法(続き)

多目的ストッカー 扉の調整方法

- 扉の上下・傾きの調整をする際は、以下の要領で行ってください。

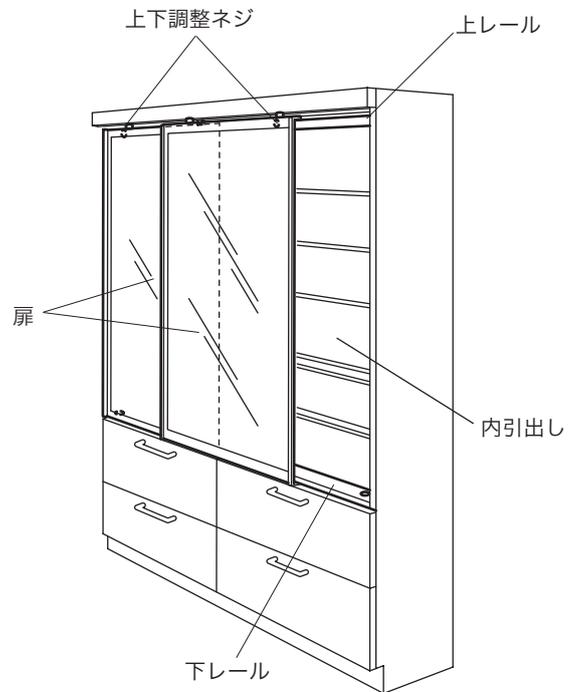
⚠ 注意

- 内引出しを引出す場合は、必ず扉を完全に開く。

内引出しが扉に当たり引出せないばかりでなく、扉が外れて、けがをするおそれがあります。



各部の名称



扉の調整方法 (上下・傾きの調整)(図-1)

左右扉の外側のローラーの上下調整を行い取り外してください。

時計回し：扉の外側が下がる
反時計回し：扉の外側が上がる

※扉上下調整時の注意

- ・ 調整を行う際には、電動ドリルは使用しないでください。
- ・ 扉を 10 mm以上、下げると扉が落下する危険があるので限度を超えた調整を行わないでください。

左右の扉が干渉する場合は下ローラーの固定ネジを緩めて扉の前後調整を行ってください。

⚠ 注意

- できるだけ扉を上方向で調整する。

下げ気味で調整すると扉が脱輪し、扉同士が擦れる場合があります。

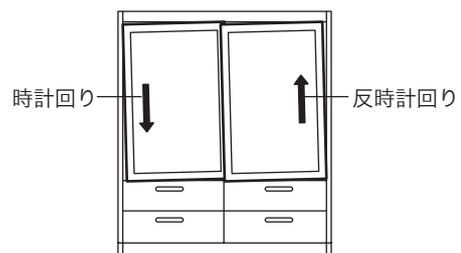
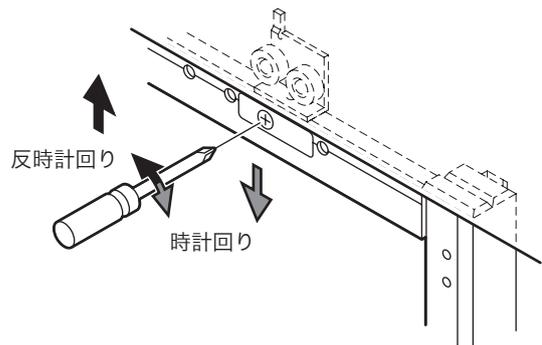


- 調整ネジを回しすぎない。

無理に回すと破損の原因になります。



■ 図-1



多目的ストッカー 扉の調整方法 (続き)

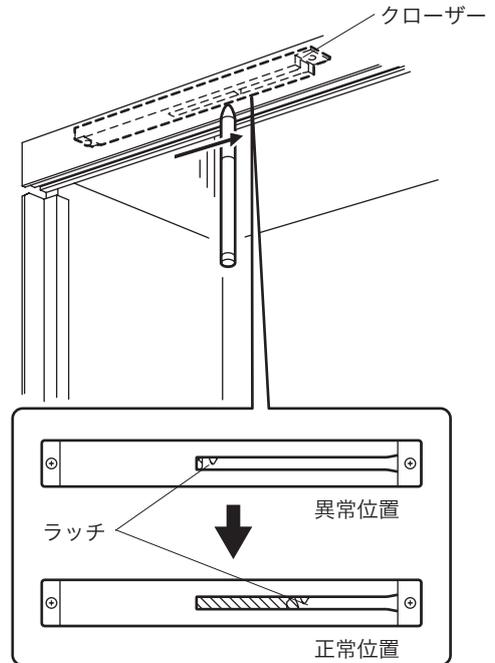
扉が閉じきらなくなった場合の対処方法

上レールを下方から覗いてクローザーの状態を確認してください。

クローザーが入っている場合 (トゥルリオシリーズ)

扉を引き込むためのラッチの位置が正常位置になっているか、確認してください。
異常位置の場合、ボールペン等のピン状のものを使ってラッチを正常位置へ動かしてください。
その際、ピンは垂直を保った状態で動かしてください。ピンを傾けた状態で引くと、製品が破損するおそれがあります。

各部の名称



扉取付及び調整後の
確認ポイント

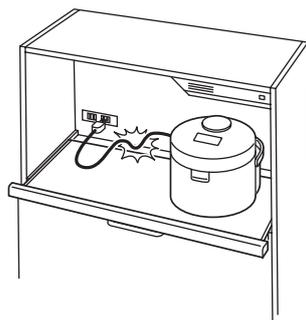
- ①開閉時に内引出が扉に当たらないか。
- ②開閉時に扉がスムーズに操作できるか。

蒸気排出ユニット付家電品収納庫について

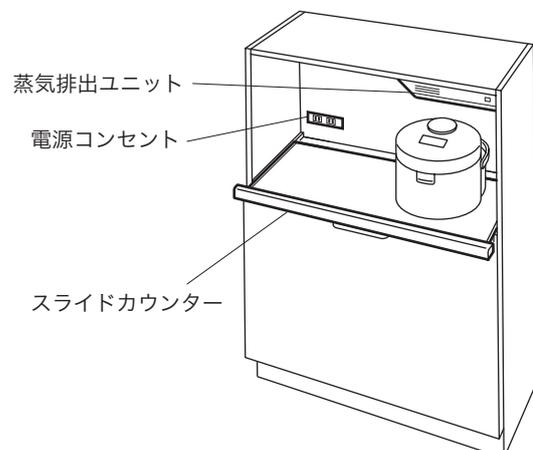
⚠ 警告

- スライドカウンターを出し入れする際は、家電品の電源コードを挟み込まない。

電源コードが断線し、漏電や火災の危険があります。



各部の名称



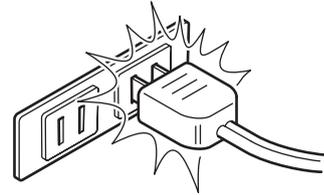
ご使用方法(続き)

蒸気排出ユニット付家電品収納庫について (続き)

⚠ 警告

- 家電品の電源プラグは確実に差し込んで使用する。

漏電や、火災の危険があります。



- 電源コンセントには合計で 1500W を超える電気器具を使わない。

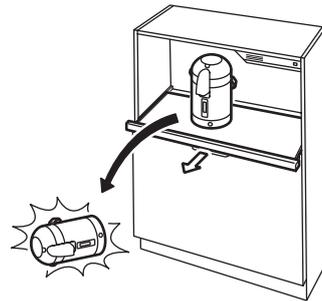
火災のおそれがあります。



⚠ 注意

- スライドカウンターを出し入れする際は、ゆっくり行う。

家電品が転倒・落下し、けがややけどをする危険があります。



- スライドカウンターに、15 kg以上の物を載せない。
スライドカウンターに、乗ったり、ぶらさがったりしない。

ケガのおそれがあります。



- 炊飯器や電気ポットを使用する時は、必ず蒸気排出ユニットのスイッチを「入」にする。

蒸気排出ユニットを「切」の状態で使用するとキャビネット内に水滴が付き、割れ・フクレ・漏電のおそれがあります。



- 蒸気排出ユニットについては、蒸気排出ユニット取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



家電品収納庫について

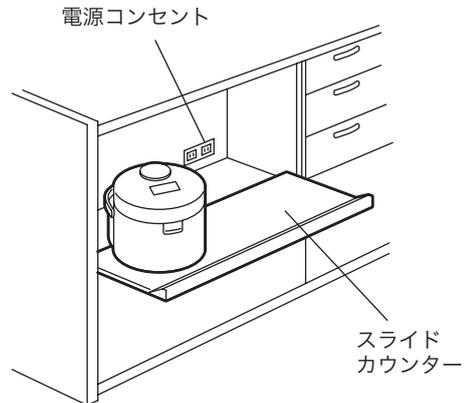
⚠ 警告

- 電源コンセントには合計で1500Wを超える電気器具を使わない。
火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- スライドカウンターに、15 kg以上の物を載せない。
スライドカウンターに、乗ったり、ぶらさがったりしない。
ケガのおそれがあります。

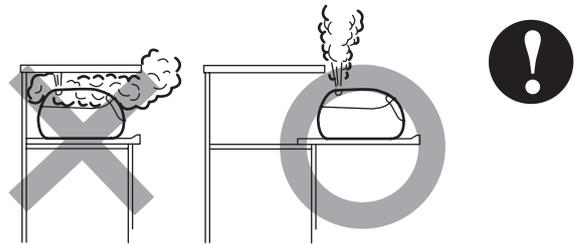
各部の名称



お願い

- 家電品収納庫で炊飯器を使用するときは必ずスライドカウンターを引出して使用してください。

スライドカウンターを押し込んだまま炊飯しますと、キャビネット内に水滴が付き、割れ、フクレ等が発生するおそれがあります。



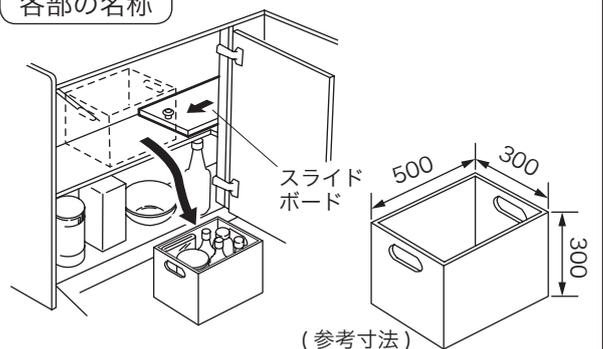
- 家電品ストッカー、家電収納庫、カウンターユニットなどの上に電子レンジ等を設置する場合は、各機器の取扱説明書に記載された設置スペースを確保してください。

壁付けコーナー用カウンターユニットについて

キャビネット内の棚板奥には、手前に引出すことができるスライドボードが付いています。

スライドボードを引出すためには、手前の収納物を移動する必要がありますので、右図のような箱(市販品)等にて手前の物を収納してください。

各部の名称



ご使用方法(続き)

プラスワンカウンターについて

ワークトップ下のプラスワンカウンターをワークトップの延長としてご使用いただけます。

完全に引き出してロックがかかった状態でご使用ください。

プラスワンカウンターが汚れたり濡れている場合は、布で拭きとってから収納してください。

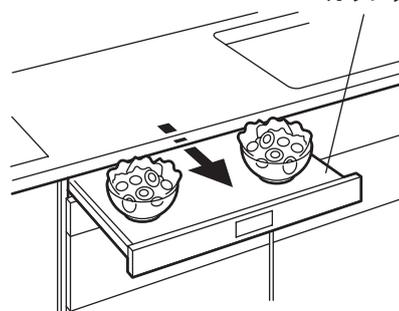
閉める場合は、プラスワンカウンター前側両側面のストッパーを手前に引いてロックを解除させて閉めます。

ロックを解除した状態でさらに引き出すとプラスワンカウンターがレールから外れてしまいます。

ロック解除後は必ずプラスワンカウンターを閉めてください。

各部の名称

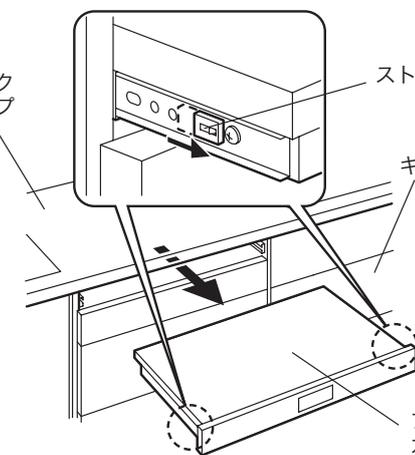
プラスワン
カウンター



ワーク
トップ

ストッパー

キャビネット



プラスワン
カウンター

⚠ 注意

- プラスワンカウンターを使用するときは必ず、完全に引き出してロックがかかった状態で使用する。



- プラスワンカウンターに10 kg以上の物を載せない。



レールが変形し破損するおそれがあります。

- ものが乗った状態で開閉しない。



こぼれたり落ちたりするおそれがあります。

- プラスワンカウンターに乗りたりぶらさがったりしない。



プラスワンカウンターが外れて、ケガをするおそれがあります。

お願い

- プラスワンカウンターの上に水を流さないでください。



水がキャビネット内に入りふやけたりかびが発生したり、くさるおそれがあります。

- ストッパーを引いた状態で閉めないでください。



指をはさむおそれがあります。

- プラスワンカウンターのご使用後は必ず元の位置に戻してください。



作業のじゃまになったり、ぶつかってケガをするおそれがあります。

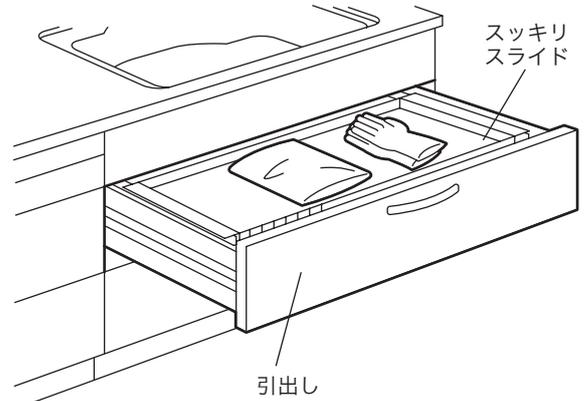
スッキリスライドについて

シンク下のスッキリスライド（ワイヤー式の浅い引出し）には、ごみ袋やゴム手袋等収納できます。シンク下の引出しを開けてご使用ください。トレーより背の高い物は収納しないでください。

お願い

- スッキリスライドの中にぬれたフキン・ぬれたまな板等ぬれものは収納しないでください。
キャビネット内に湿気がこもり、キャビネットがくさるおそれがあります。
- スッキリスライドを引出した状態で引出しを閉めないでください。

各部の名称



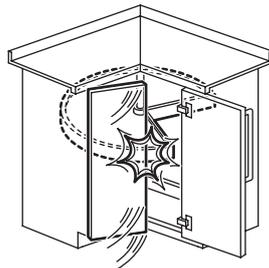
回転トレーについて

回転トレーの場合、コーナーキャビネット奥に物を収納する場合など、トレーを回転させてご使用になります。回転トレーは上、下別々に回転します。

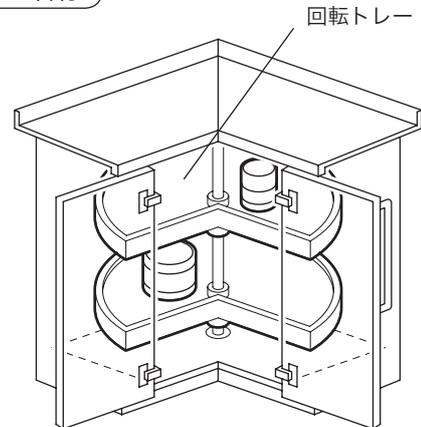
お願い

- 扉を閉める場合は、回転トレーが収納状態で閉めてください。

扉をキズつけたり、収納物が落下するおそれがあります。



各部の名称



⚠ 注意

- 回転トレーの上には下段、上段とも 5 kg 以上の物は乗せない。 
- 収納物を出し入れする際は、ゆっくり回してご使用ください。 
収納物が落下するおそれがあります。

ご使用方法(続き)

洗剤カゴについて

シンクには脱着の出来る洗剤カゴと、まな板スタンドがついています。(デッキカウンタータイプには、まな板スタンドは付属しません)
まな板や洗剤の置き場にご使用ください。

●センターポケットシンク

洗剤カゴを取外す場合

洗剤カゴをシンク奥側にスライドさせて上に持ち上げて外してください。

洗剤カゴを取付ける場合

シンク後部に取り付けてあるピンに洗剤カゴの樹脂フック部を上より引っ掛け手前にスライドさせて固定してください

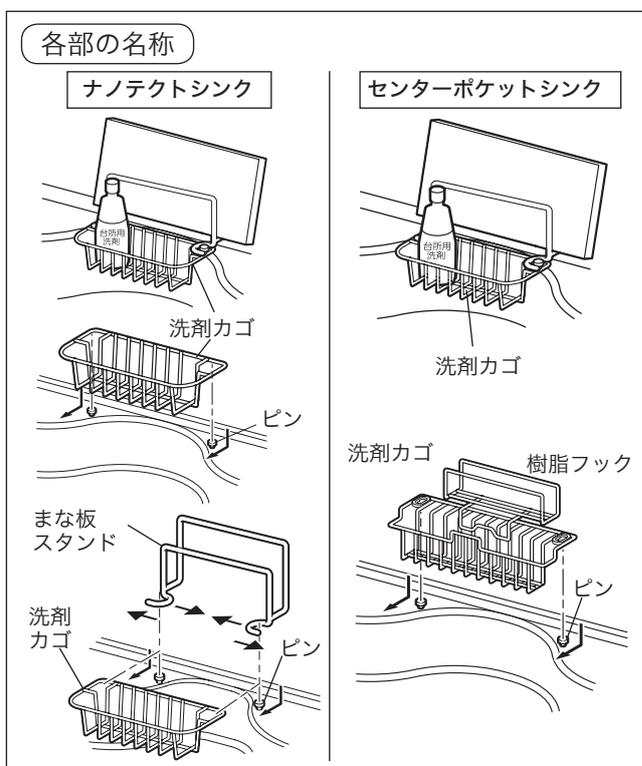
●ナノテクトシンク(エンボス付)

まな板スタンドを取付ける場合

まな板スタンドのフックを内側に曲げながらピンに固定してください。

まな板スタンドを取外す場合

まな板スタンドのフックを内側に曲げながらピンより引抜いてください。

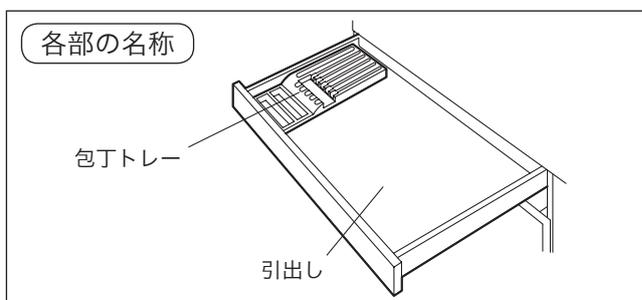


包丁トレーについて (フットスペース収納タイプのみ)

奥行方向においてご使用ください。

包丁は水分をおとしてから収納してください。

※ 刃渡り 24cm までの包丁が5本収納できます。

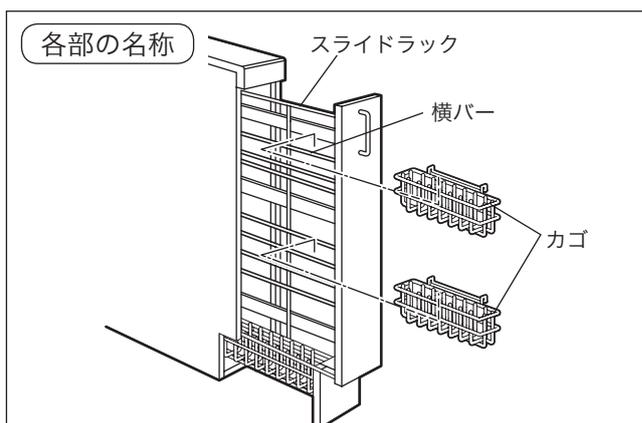


スリムスライドキャビネットについて

上2つのカゴは、横バーの好みの場所に掛けてご使用いただけます。

⚠ 注意

- スリムスライドキャビネットのスライドラック部には合計5kg以上の物は乗せない。



包丁差しについて (サポート収納タイプのみ)

包丁は水分をおとしてから収納してください。
※ 刃渡り 20cm までの包丁が 4 本収納できます。

包丁差しを取外す場合 (図-1)

- ① 収納している包丁やナイフを取り外してください。
- ② 包丁差しを上を持ち上げて取付ホルダーから外し、包丁ガイド A、B、C を横方向にスライドさせて包丁受けから外してください。

包丁差しを取付ける場合 (図-2)

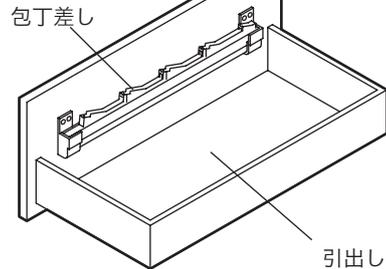
包丁ガイド A、B、C を横方向にスライドさせて包丁受けに差し込み、上方向から取付ホルダーに固定してください。

⚠ 注意

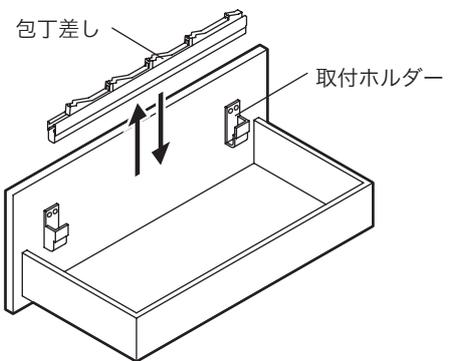
- 包丁を収納した状態で包丁差しを取り外し、取付けしない。

ケガをするおそれがあります。

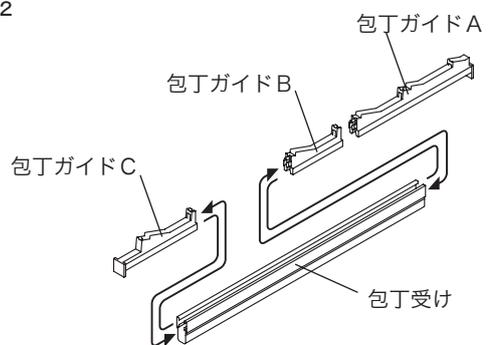
各部の名称



■ 図-1



■ 図-2

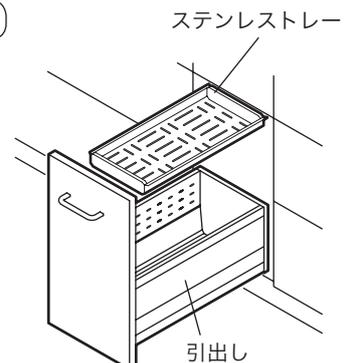


ステンレストレーについて (サポート収納タイプのみ)

サポート収納タイプの調理台にはステンレストレーを付属しています。

油などの調味料トレイとしてご使用いただけます。

各部の名称



●お手入れ方法

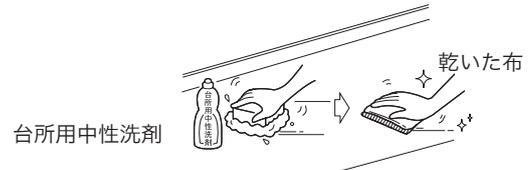
- 汚れはお手入れが早いほど、簡単に落ちます。
こまめなお手入れがきれいにお使いいただける秘訣です。
- 下記以外の機器のお手入れについては、それぞれの機器に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

ステンレスワークトップ

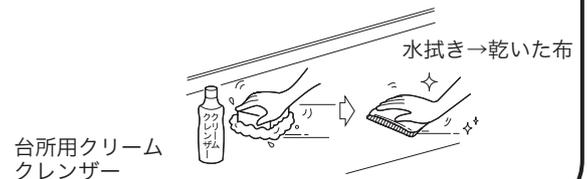
使用後はよく、水洗いし、乾いた布等で拭きとってください。



塩分や油脂分の汚れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。

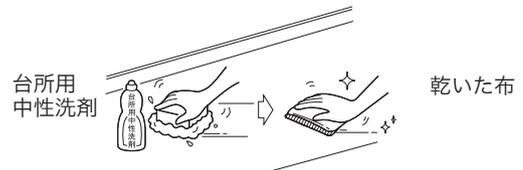


汚れが落ちにくい場合やサビが付着した場合は、台所用クリームクレンザーで汚れを落とし、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。

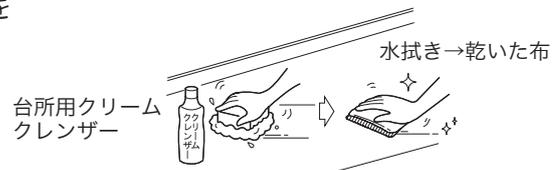


人造大理石ワークトップ

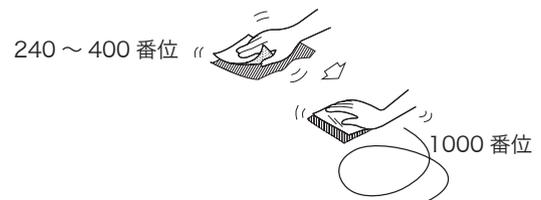
日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。



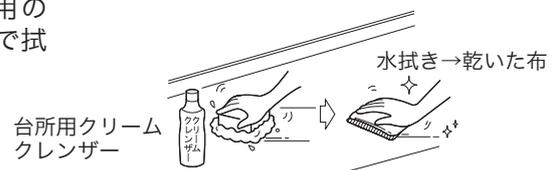
汚れが落ちにくい場合は、台所用クリームクレンザーで汚れを落とし、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。



表面に傷がついた時は、細かいサンドペーパー（400番位）で磨いてください。傷が深い場合は粗いサンドペーパー（240番位）で磨いた後、400番位で磨き、更にナイロントワシか水磨ぎペーパー1000番で軽く弧を描く様に仕上げてください。



以上のお手入れで光沢が均一でなくなった時は、台所用のクリームクレンザーで均一に磨き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。



メラミンカウンター・扉・キャビネット

- 軽い汚れは柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭きとってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。放置すると扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

お 願 い

- クレンザー、硬いタワシなどは扉に傷をつけますので、使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、変質の原因になりますので使用しないでください。

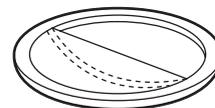


排水トラップ

週1回程度、排水プレート、バスケット及びトラップ内部の汚れを、ぬるま湯または、台所用中性洗剤で落としてください。

各部の名称

ゴミ収納器



排水プレート



バスケット

調理くずがたまった場合 (図-1)

バスケットを取り出し、水気を切ってから、中のくずを捨てます。
くずをためすぎると、臭いの元になるばかりでなく、水の流れも悪くなります。

■図-1



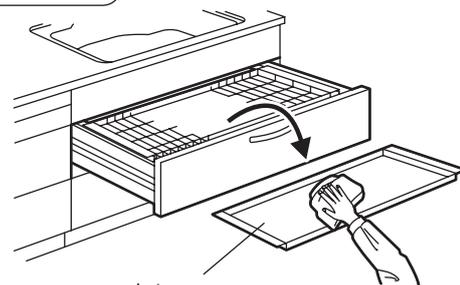
スッキリスライド

軽い汚れは柔らかい布で軽く拭いてください。

汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。

水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。

各部の名称



トレイ

お手入れ方法(続き)

プラスワンカウンター

軽い汚れは柔らかい布で軽く拭いてください。
汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。
水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。
汚れがひどい場合は、取り外して清掃してください。

⚠ 注意

- 取り外す際は、ゴム手袋を着用してプラスワンカウンター両側中央部をもって引き抜く。

落下してケガをしたり、床をキズつけるおそれがあります。

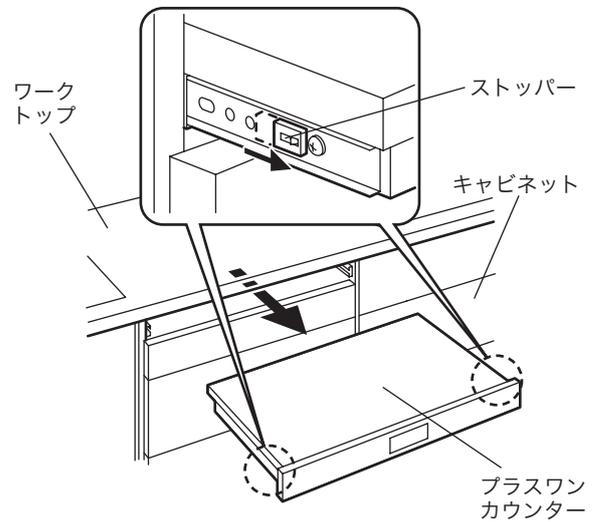
取外し方法

プラスワンカウンターを引出し、プラスワンカウンター前面、両側にあるロック解除レバーを引き少し前へ引き出します。プラスワンカウンターを両手で確実に持ってさらに前面に引き出します。

取付け方法

プラスワンカウンター両側のレールをキャビネットのレールに合わせながら両方のレールが水平になる様にプラスワンカウンターを押し込みます。

各部の名称



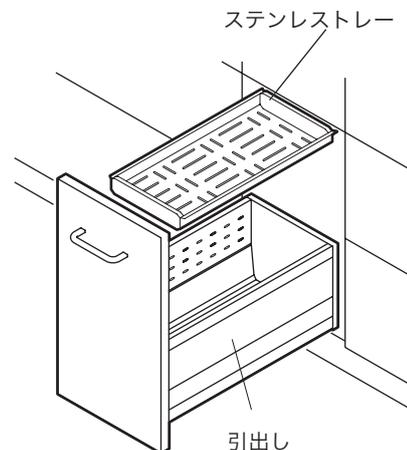
ステンレストレー

軽い汚れは柔らかい布で軽く拭いてください。

汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用洗剤を含ませて軽く拭き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。

汚れがひどい場合は、取り外して清掃してください。

各部の名称

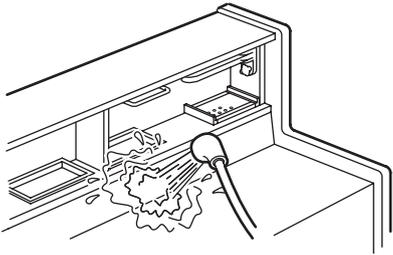


ワークフロント収納

ステンレス部分の日常のお手入れ方法は、ステンレスワークトップの項(41ページ)をご参照ください。

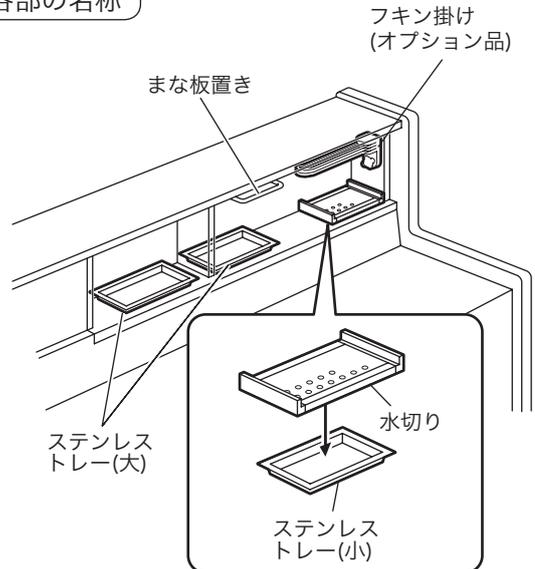
お願い

- ステンレスキャビネット部分に、直接、水をかけないでください。



水をかけた場合、中央の仕切りの隅から反対側へ水がもれるおそれがあります。

各部の名称



ステンレスシンク・ナノテクトコーティングシンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。



台所用中性洗剤

人造大理石シンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。アルミ鍋などがこすれて跡が残ったときは、市販のメラミンスポンジに水を含ませてこすってください。



台所用中性洗剤

汚れが落ちにくい場合は、研磨剤を含まないやわらかいスポンジに台所用クリームクレンザーを付けて汚れを落とし、水で良くクレンザーを洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。



台所用クリームクレンザー

がんこな汚れ(水あか・もらいサビ)は市販のナイロントワシに水を含ませて、汚れが気になる部分を軽くこすってください。仕上げに、スポンジに台所用クリームクレンザーを付けて軽くこすり、水で良くクレンザーを洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。



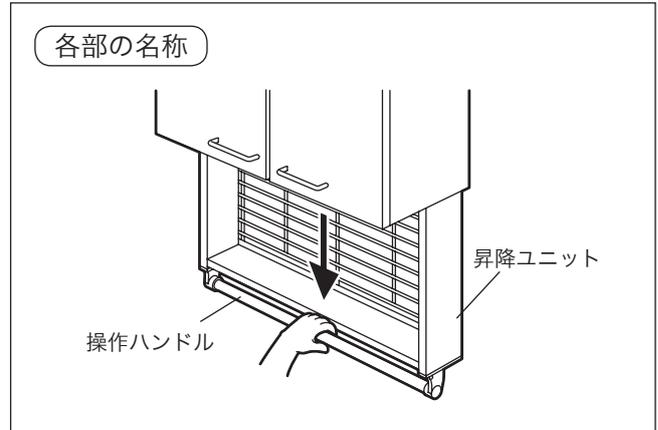
ナイロントワシ

注) クリームクレンザーやナイロントワシの使用は、予め目立たない場所で試してからご使用し、必要時のみで常用はお避けください。

お手入れ方法(続き)

プルダウンラック付吊戸棚

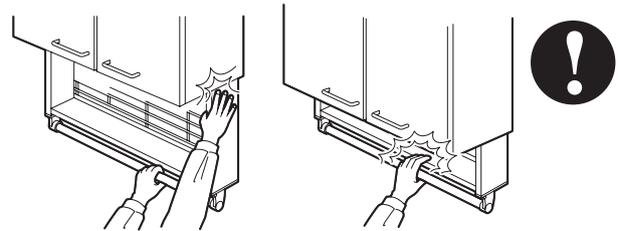
- ①昇降ユニットを完全に降ろし、上昇しないように手で押えながら行ってください。
※ハンドル部のお手入れは、昇降ユニットを降ろした状態で行わないでください。ロックが解除され、昇降ユニットが跳ね上がり危険です。必ず収納状態でお手入れしてください。
- ②本体の汚れは、台所用中性洗剤をぬるま湯でうすめてスポンジに含ませて拭き取ってください。
※アルカリ系・酸性系の洗剤の使用は避けてください。
- ③水拭きのあと、乾いた柔らかい布で拭いてください。
※みがき粉・シンナー・ベンジンなどを使用しないでください。表面が変色する場合があります。



⚠ 注意

- 昇降時に昇降ユニット本体を触らない。

指をはさみ、けがをするおそれがあります。



●点検方法

- ホース収納タイプのシャワー水栓をご使用の場合（水受けトレイ不用タイプは除く）キャビネット背面には水受けトレイまたは水受け容器が設置されています。
水受けトレイに溜まった水を定期的に捨ててください。長期間放置すると水受けトレイより水があふれるおそれがあります。

⚠ 注意

湯側の配管は高温になっていますので、火傷をしないように注意してください。

●仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。	
製造企業名	株式会社ハウステック	
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆	
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会表示指針による。	
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	P B	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.housetec.co.jp	

●故障、異常の見分け方

●故障・異常の見分け方と処置方法

現象	調べていただくところ	対処方法
扉がガタガタするとき	丁番のネジがゆるんでいませんか	9～10ページ参照
引出しがガタガタするとき	調整レバーがゆるんでいませんか	11～16ページ参照
扉が開かないとき	ロック機構が作動していませんか	23ページ参照
排水が詰まったり、流れにくくなった	バスケットに野菜くずなどが詰まっていませんか	8、42ページ参照
熱湯をかけるとシンクが「ポコッ」と音がする	これは異常ではありません ・熱湯によるステンレスの伸縮によるものです ・熱い油や多量の熱湯を流すと排水器具などが変形し水漏れの原因になることがあります	—————

■ 組み込まれる機器、水栓金具などはそれぞれの取扱説明書を確認してください。

■ 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪い時は、すぐにお買上げの販売店にご連絡ください。

●保証・点検・修理のご案内

保証と保証期間について

- このシステムキッチンには、無料修理保証書がついています。本体・組み込み機器それぞれの保証書を確認してください。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください）
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- システムキッチンが正常に作動しないときは、46ページの「故障・異常の見分け方」をご覧ください。それでも正常に作動しないときはすぐに使用を中止し、47ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
 - ① ご住所、お名前、電話番号
 - ② 型式名：①②ページ「各部の名称」のキャビネット銘板に記載されています。
 - ③ 現象：できるだけ詳しくお知らせください。
 - ④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

部品の最低保有期限

- 当社は、このシステムキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低7年間保有しています。但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 代替品対応部品：扉・引出し等の面材に関しては長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、同等代替品での対応となる場合があります。

廃棄処分について

- 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

お問い合わせ窓口

お問い合わせの内容により、下記の窓口にご連絡ください。

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）
0120-80-1761
●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は
0120-10-2471
●受付時間 365日 24時間

補修部品のご購入は（代引き販売窓口）
0120-45-5621
●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

保証書

無料修理保証書

品名	システムキッチン トウルリオシリーズ			※型式
保証期間	本体： 1 年間	※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お名前：	様	()	
	ご住所：			
※販売店	住所・店名：			
		TEL：	()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan
本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をおこなうことを、お約束するものです。尚、本体組込機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証に関する書面に従います。上記の保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧の窓口にご依頼のうえ、本書をご提示ください。保証期間のお買い上げ日、改修の場合は、改修部分の設置完了の日、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築主様に引き渡された日とします。

- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の設置場所の移動、分解等による故障及び損傷。
 - (ハ) 取付・設置の不注意、過失による故障及び損傷。
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常水圧及び燃料、給水の供給事情による故障および損傷ならびに自然消耗。
 - (ホ) 商品、部品の経年変化または使用に伴う磨耗など（たとえば扉塗装の色あせ、木製品のそり、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など）により生じる故障及び損傷。
- (ヘ) 一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
- (ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- (チ) 本書のご提示がない場合。
- (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧表の窓口にお問い合わせください。

株式会社 ハウステック

〒173-0004 東京都板橋区板橋3-9-7（板橋センタービル）
☎(03)5248-5500